

水土里 Maps  
基本マニュアル

平成 27 年 3 月発行



1.	システムの起動と終了.....	1
2.	画面構成.....	4
3.	地図操作.....	6
4.	属性の参照と更新.....	9
5.	属性パネル操作（日付入力・関連ファイル）.....	13
6.	作図（農地・付箋・傾斜計算・注記・断面図）.....	18
7.	図形の編集（移動・削除・切り取り）.....	28
8.	図形の変更（分合筆・エリア分割・履歴管理）.....	31
9.	検索.....	34
10.	住所検索.....	45
11.	オーバーレイ操作.....	47
12.	主題図.....	54
13.	データベース接続.....	59
14.	データベースの利活用（外部システム連携）.....	66
15.	テンプレート印刷.....	69
16.	連続印刷.....	78
17.	出力（タイル出力データの活用・頂点出力）.....	84
18.	他アプリケーション起動.....	89
19.	他システム連携.....	91
20.	特殊オーバーレイの管理.....	94
21.	環境設定.....	96



# 1. システムの起動と終了

[Vi] [Ma] [Mo]

## 1.1. システムを起動する

システムを起動するには、「水土里 Maps.exe」を実行します

水土里情報入力システムを起動します

<p>①</p> 	<p>① 【水土里 Maps. exe】をダブルクリックします。もしくはデスクトップの【ショートカット】をダブルクリックで起動します</p>
<p>②</p> 	<p>② ユーザ名、パスワードを設定し起動ボタンを押します</p>
<p>③</p> 	<p>③ システムが起動します</p>

## 1.2. 変更内容を保存する

システムで新規に作図した図形を「保存」します。作図した内容が次のシステム起動時に反映されます

### 変更内容を保存します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①  保存</p>	<p>① 【保存】 コマンドを実行します</p>
<p>② </p>	<p>② 『保存確認メッセージ』で「はい」ボタンを押します</p>

### 保存内容



- 「環境設定」パネル  の設定内容
- 図形の作図／属性の変更
- 属性項目〔T\_テーブル〕の変更

### SIS V6 形式での保存について



コマンドを実行するとマップデータを SIS V6 形式で出力することができます

## 1.3. システムを終了する

【終了】コマンドを実行すると保存するかどうかの確認メッセージが表示します

### システムを終了します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>① 【終了】コマンドを実行します</p>
<p>②</p> 	<p>② 『終了確認メッセージ』で【はい】ボタンを押します</p>
<p>③</p> 	<p>③ 『保存確認メッセージ』で【はい】ボタンを押すと変更内容が保存されます</p>

## 2. 画面構成

[Vi] [Ma] [Mo]

### 2.1. 画面構成について

#### ①レイヤ操作ウィンドウ

地図の表示や非表示の操作を行います

#### ②凡例ウィンドウ

色分け主題図の凡例が表示されます

#### ③ナビゲーションウィンドウ

全体図が表示されます

#### ④マップウィンドウ(地図の画面)

水土里情報入力システムで読み込んでいる地図が表示されます

#### ⑤テーブルウィンドウ(属性の画面)

地図情報の属性を表形式で表示します。

親コード	コード	親名称	名称
	K-01		皆暮
K-01	K-0101	皆暮	2500地帯
K-01	K-0102	皆暮	2500地帯

#### ⑥ステータスバー

マウスの座標値・ヘルプ・選択図形の種類(数)・選択図形のアイテムクラス(数)・地図縮尺

親コード	コード	親名称	名称	現在:カラー	表示:カラー	属性:カラー	表示:カラー	主属性名	主属性値	主属性単位	主属性種類	99:区分	99:表示
K-01	K-01	皆暮	ALL_VISIBLE										
K-01	K-0101	皆暮						◎#水土量値1					
K-01	K-0102	皆暮						◎#水土量値2					
K-01	K-0103	2500											
K-01	K-0104	皆暮											
K-01	K-0105	皆暮	市町村界(HI)NOTVISIBLE					EI:NOTVISIBLE					
K-0105	K-0105E1	市町村界(HI)市町村名	パレ表示										
-0106		皆暮	市町村界(HI)VISIBLE					◎#水土量値3					
-0106E1		市町村界(HI)市町村名	パレ表示										
-0107		皆暮	名称 base	VISIBLE				◎#水土量値4					
-0107E1		名称 base	パレ表示	パレ表示				◎#水土量値5					
K-02		農地	ALL_VISIBLE										
K-0201		農地	HITTABLE										
K-0201U		農地	大宇+地帯	パレ表示									

## 2.2. コマンドボタンについて

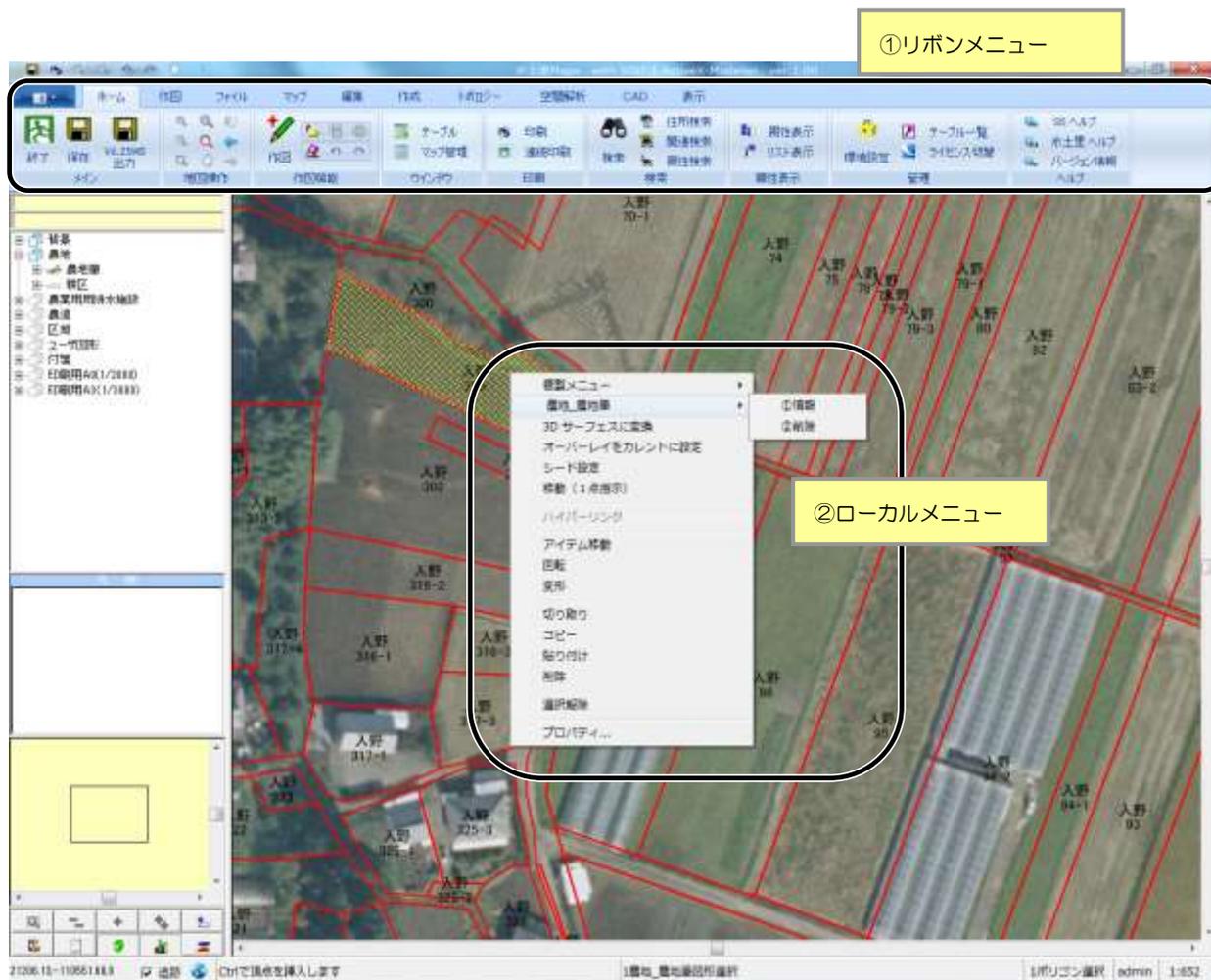
システムの機能を実現するボタンについて説明します

### ①リボンメニュー

画面上部のメニューを「リボンメニュー」といいます

### ②ローカルメニュー

マウスの右クリックメニューを「ローカルメニュー」といいます



## 3. 地図操作

### 3.1. 表示操作メニューについて



#### 表示コマンド一覧

[Vi] [Ma] [Mo]

	前に戻る	一つ前の画面を表示します
	次に進む	一つ後の画面を表示します
	ボックスズーム	指定した四角形の領域が表示されるようにズームインします
	ズームイン	画面の縮尺が2倍になるようにズームインします ※インテリマウスのホイールを「手前」に回転
	ズームアウト	画面の縮尺が1/2倍になるようにズームアウトします ※インテリマウスのホイールを「奥」に回転
	パンニング	マウスをドラッグして地図を直接連続的にパンニングします ※インテリマウスのホイールを「押したままドラッグ」してもパンニングできます
	スケール指定	スケールを入力することにより現在表示されている地図の中心を基準に画面上に指定されたスケールで表示します
	選択表示	選択した図形がすべて表示されるようにズームします
	領域表示	すべての図形が表示されるようにズームします（地図領域全体が表示されます） 

## 3.2. 計測機能について

計測機能は地図上の距離や面積を計測します。「作図した図形を計測」を行う「作図による計測」と「選択による計測」を行う「選択した図形を計測」の2種類があります



### 計測コマンド一覧

[Vi] [Ma] [Mo]

	作図距離	ラインを作図して計測します。
	作図面積	ポリゴンを作図して計測します。
	選択距離	ラインを選択して計測します
	選択面積	ポリゴンを選択して計測します

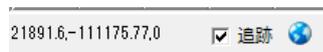
### ポリゴンを作図して計測します

[Vi] [Ma] [Mo]

①	① 【作図面積】 コマンドを実行します
②	② 作図して Enter キーを押すと面積計測結果画面が表示します ③ <b>作図</b> ボタンを押します
④	④ 作図対象オーバーレイを選びます ⑤ <b>OK</b> ボタンを押します
⑤	

### 3.3. ポジショナー・座標値の表示形式について

画面の左下にポジションバーが表示されます。ポジションバーは、マウスポインタの位置。もしくはクリックした位置の地理的情報を表示します。



#### ポジションバーの表示形式を「緯度経度」に設定する

[Vi] [Ma] [Mo]

①	① 【座標値表示形式】 コマンドを実行します
② ③	② 緯度/経度 日本測地系 2000 を選択します ③ OK ボタンを押します  <div data-bbox="673 824 1323 907" style="border: 1px solid orange; background-color: yellow; padding: 5px;">座標値を 60 進法で表示する場合は✓します</div>

#### ポジションバーの表示形式を「平面直角座標系」に設定する

[Vi] [Ma] [Mo]

①	① 【座標値表示形式】 コマンドを実行します
② ③	② 平面直角座標系 (2000). xx 第 xx 系を選択します ③ OK ボタンを押します  <div data-bbox="657 1391 1307 1473" style="border: 1px solid orange; background-color: yellow; padding: 5px;">XY を入れ替えて表示する場合は✓します</div>

## 4. 属性の参照と更新

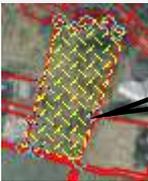
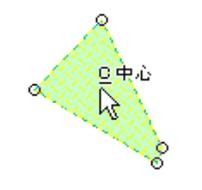
施設の属性を参照します。『属性パネル』や『属性リストパネル』の更新ボタンを押すと属性が更新します

### 4.1. 『属性パネル』に属性を表示する

『属性パネル』に施設属性を表示します

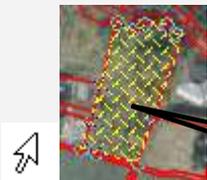
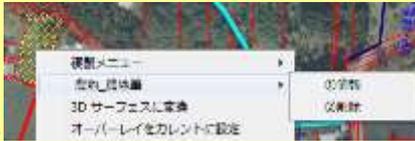
【属性表示】コマンドボタンで属性を参照します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>① 【属性表示】コマンドを実行します</p>
<p>②</p>  <p>クリック</p>	<p>② マウスがスパナの状態で《農地筆》をクリックします</p> <p>※Viewer ではスナップコード「C 中心」が表示された状態でクリックすると確実に図形を選択できます</p> 
<p>③</p> 	<p>③ 『属性パネル』が表示します</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>あらかじめ《農地筆》を選択した後、</p>  <p>コマンドを実行しても『属性パネル』が表示します</p> </div>

《施設》をダブルクリックして属性を参照します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p>  <p>ダブルクリック</p>	<p>① 《農地筆》にマウスカーソルを移動しダブルクリックします</p>
<p>②</p> 	<p>② 『属性パネル』が表示します</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>あらかじめ《農地筆》を選択した後、</p>  <p>ローカルメニュー から『属性パネル』を表示しても同様です</p> </div>

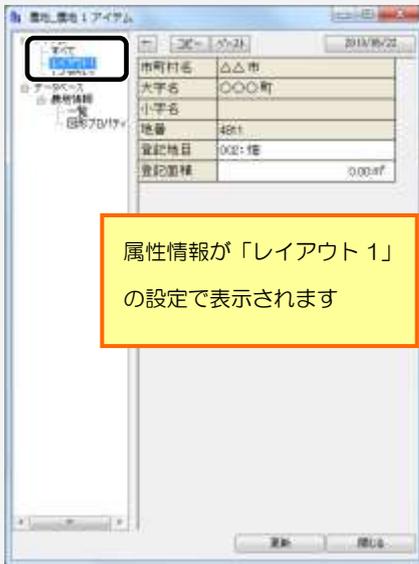
## レイアウトを表示します

①



① 《農地筆》にマウスカーソルを移動しダブルクリックし『属性パネル』を表示します

②



② 『属性パネル』で「レイアウト1」を選択します。

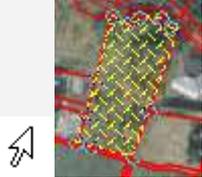
属性情報が「レイアウト1」  
の設定で表示されます

## 4.2. 『属性リストパネル』に属性を表示する

『属性リストパネル』に《施設》属性を表示します

【属性リスト表示】コマンドボタンで『属性リストパネル』を表示します

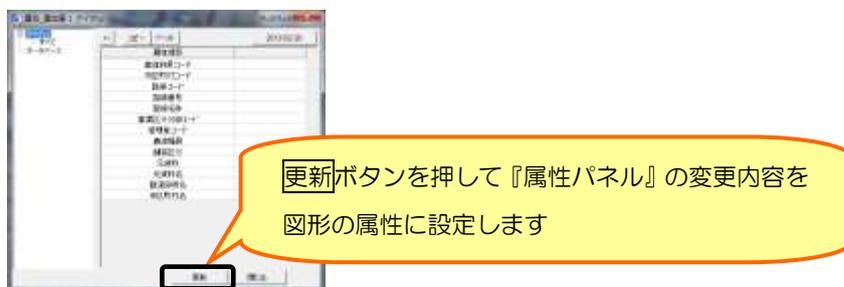
[Vi] [Ma] [Mo]

①  リスト表示	① 【属性リスト表示】コマンドを実行します
② 	② マウスがスパナの状態で《農地筆》をクリックします
③ 	③ 「属性パネル」が表示します  あらかじめ《農地筆》を選択した後、  コマンドを実行し『属性リストパネル』を表示しても同様です

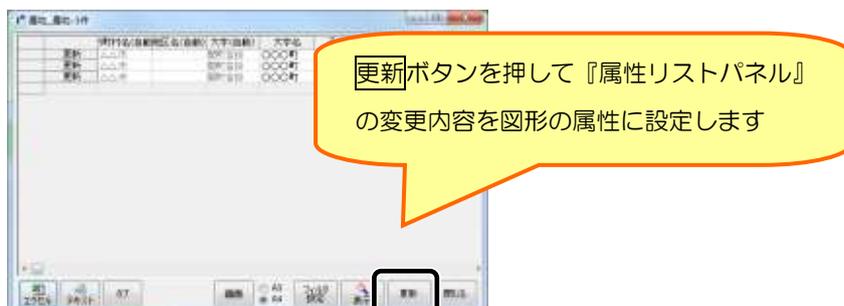
## 4.3. 属性の更新について

『属性パネル』や『属性リストパネル』で属性を更新します

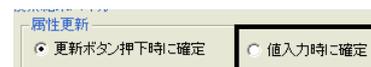
『属性パネル』の属性更新



『属性リストパネル』の属性更新



『環境設定パネル』で「値入力時に確定」に設定しておくと値入力時に属性が更新されます



## 4.4. 『属性リストパネル』のタブ表示について

### 『属性リストパネル』の一覧表示とタブ表示

[Vi] [Ma] [Mo]

タブボタンを押すと、「タブ」表示されます



## 5. 属性パネル操作 (日付入力・関連ファイル)

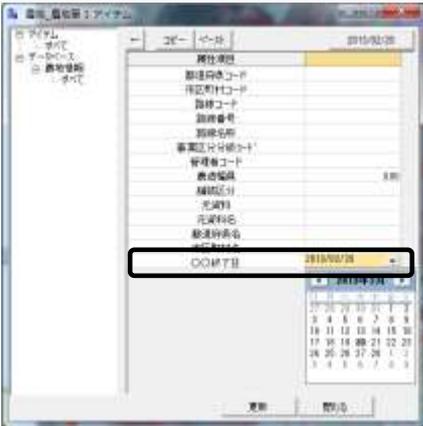
### 5.1. 『属性パネル』で「工事終了日」を入力する

「工事終了日」を入力すると「施工年度」や経過年数を自動で表示します

工事終了日・施工年度・経過年数を設定します

[Vi] [Ma] [Mo]

①

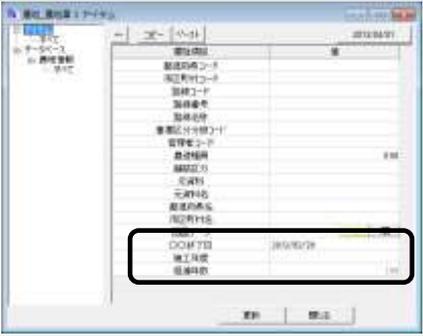


① 『属性パネル』で「〇〇終了日」を入力します

日付のセルを選択し  ボタンを押すとカレンダーが表示します

---

②



② 「施工年度」や「経過年」が表示されます

工事終了日 : 2012/02/29  
 現在 : 2013/04/01  
 経過年数 : 1.08

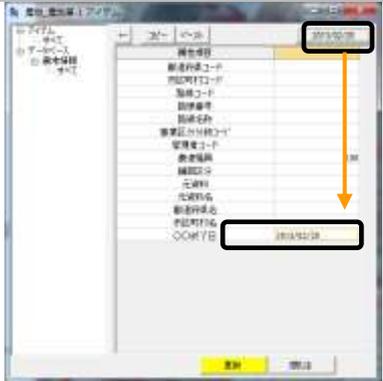
【〇〇終了日の式】 iEdate#

【経過年数の式】  

$$\text{iif}(\text{Edate}\#\neq 0, (\text{Date}() - \text{Edate}\#) / 365, 0)$$
 ※Date (今日) とはパソコン設定の日付

### 『属性パネル』の日付入力

『属性パネル』で、日付のセルを選択し、 ボタンを押すと今日の日付が設定されます



ボタンを押すと今日の日付が代入されます

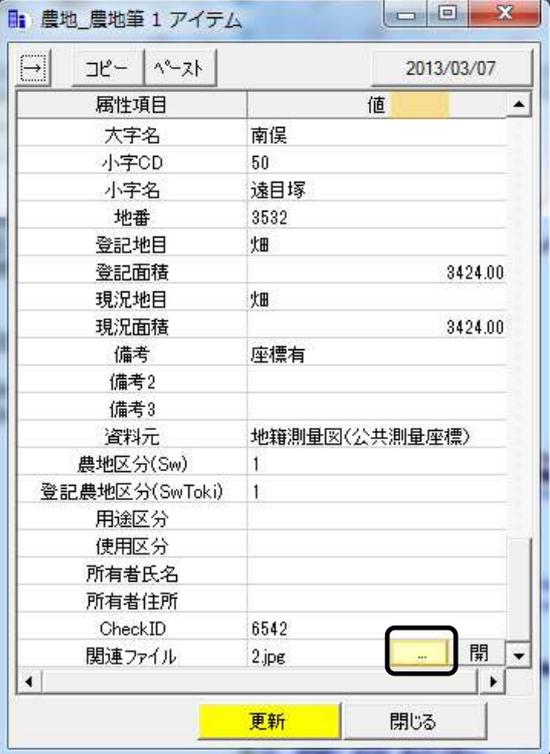
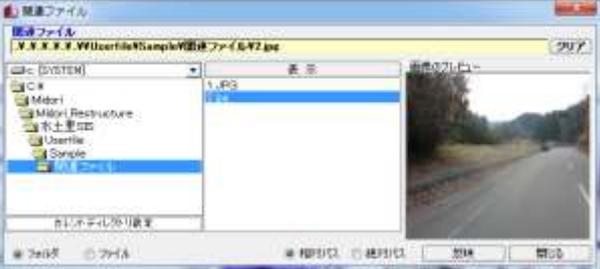
## 5.2. 関連ファイルを参照・登録する

図形に関連ファイルの表示・登録を行います。登録は「フォルダ」もしくは「ファイル」を指定します

☆本機能を利用するための環境設定については【管理マニュアル】  
『6章「関連ファイル」機能の追加』に記載されています

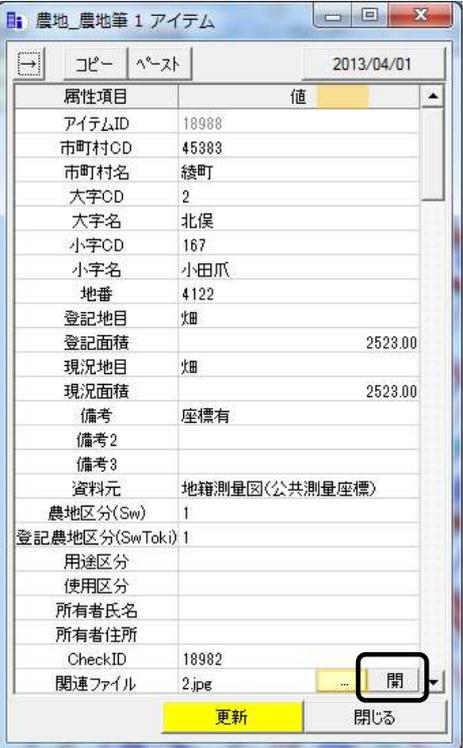
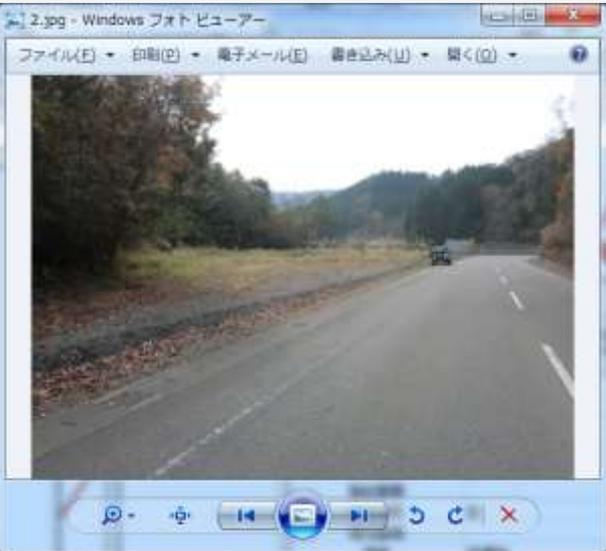
### 関連ファイルを参照します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>① 《農地筆》を選択し【施設属性表示】コマンドを実行します</p>
<p>②</p>  <p>③</p>	<p>② 『属性パネル』が表示します</p> <p>③  ボタンをクリックします ※「開」ボタンを押すとアプリケーションが起動し、関連ファイルが表示されます</p>
<p>④</p> 	<p>④ 『関連ファイル登録用パネル』が表示します</p>
<p>⑤</p> 	<p>⑤  ボタンを押すとアプリケーションが起動し関連ファイルが表示します</p>

## 関連ファイルを開きます

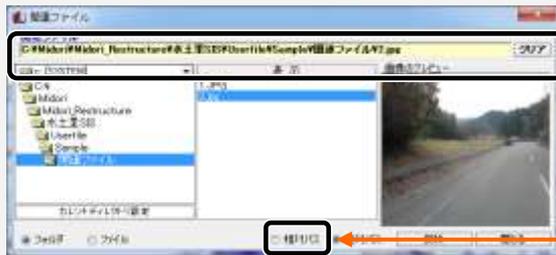
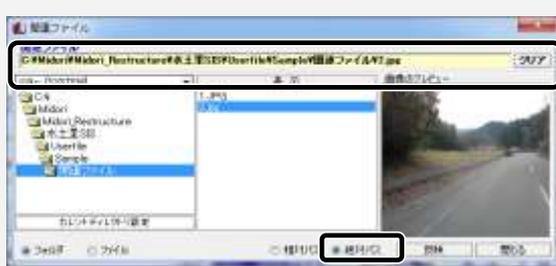
[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>① 《農地筆》を選択し【施設属性表示】コマンドを実行します</p>
<p>②</p>  <p>③</p>	<p>② 『属性パネル』が表示します</p> <p>③ <b>開</b>ボタンをクリックします</p>
<p>④</p> 	<p>④ 関連ファイルが表示されます</p>

## 関連ファイルを登録（変更）します

[V] [Ma] [Mo]

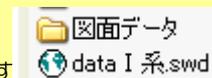
⑤



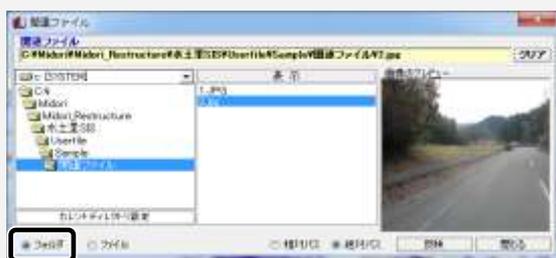
- ⑤ 「絶対パス」もしくは「相対パス」を選択します  
 ※ 相対パスで保存する場合、マップドキュメントファイルと異なるドライブのパスは登録しても参照できませんのでご注意ください。

相対パスの起点はマップドキュメント「data..swd」

ファイルにあたります



⑥



- ⑥ フォルダを選択しファイルを指定します。フォルダを参照先に設定することもできます

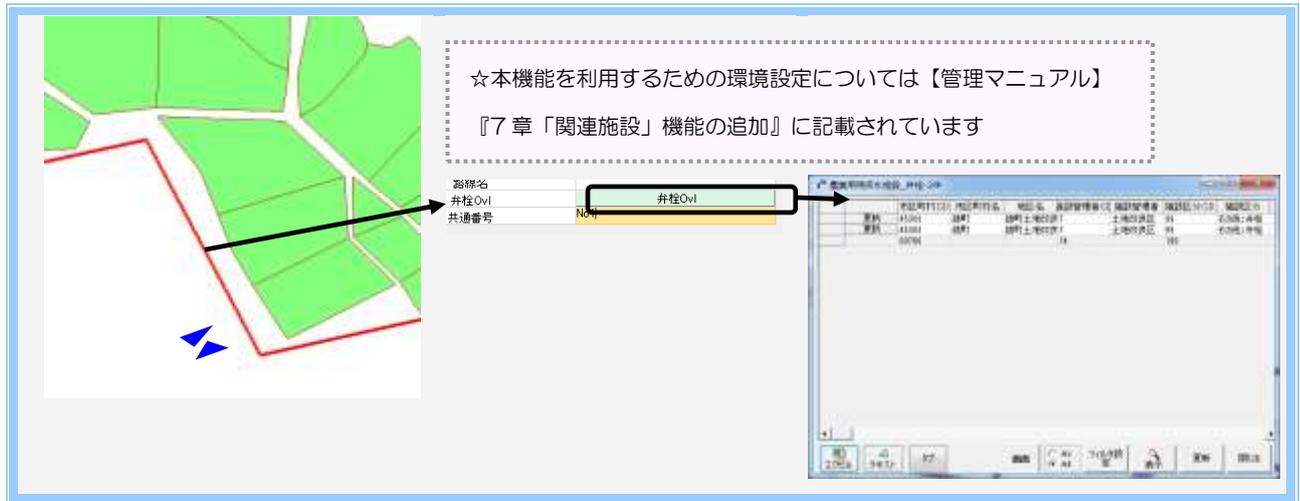
⑦



- ⑦ **更新**ボタンを押して属性変更内容を更新します

### 5.3. 別レイヤの関連図形を参照する

関連づけされた図形情報を『属性リストパネル』で表示します



#### 関連図形を参照します

[Vi] [Ma] [Mo]

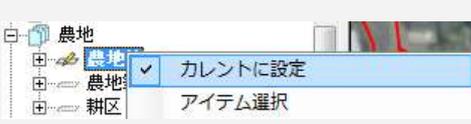
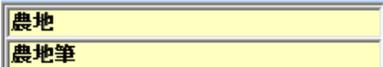
<p>① 属性表示</p>	<p>① 《水路》を選択し【施設属性表示】コマンドを実行します</p>
<p>②</p>	<p>② 『属性パネル』が表示します</p> <p>③ 弁栓Ovl ボタンをクリックします</p>
<p>④</p>	<p>④ 《弁栓》の『属性リストパネル』が表示します ※「共通番号」が参照キーです</p>

## 6. 作図（農地・付箋・傾斜計算・注記・断面図）

### 6.1. 《施設》を作図する《農地》

#### 《農地》を作図します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>① </p>	<p>① 《農地》左横の「+」を選択します</p>
<p>② </p>	<p>② 《農地筆》オーバーレイを選択し、ローカルメニュー【カレントに設定】コマンドを実行します</p> <p></p>
<p>③ </p>	<p>③ 左上の文字が《農地_農地筆》に設定されます</p>
<p>④ </p> <p></p> <p>『エリア作図パネル』を表示する方法</p>	<p>④ 【作図】コマンドを実行します</p> <p></p> <p>『環境設定』パネルであらかじめ設定します</p>
<p>⑤ </p>	<p>⑤ 終点までクリックしたら <b>Enter</b> キーでエリアを確定します</p>
<p>⑥ </p>	<p>⑥ 属性を入力し <b>更新</b> ボタンを押します</p> <p></p> <p>『環境設定』パネルで「更新」ボタンと同時に変更内容を保存する設定が行えます</p>

## 6.2. 《付箋》を作図する

### 《付箋》を作図します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>① 【付箋作図】コマンドを実行します</p>
<p>②</p> 	<p>② 《付箋》を作図したい位置にポインタを近づけてクリックします</p>
<p>③</p> 	<p>③ <b>OK</b> ボタンを押します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・《付箋》の背景色は（赤・青・黄）の三種類</li> <li>・フォント</li> <li>・文字高さ（サイズ） サイズ</li> </ul> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★付箋で作図するシンボルは環境設定で指定します</p>  </div>
	<p>★Viewerの『付箋パネル』では機能が制限されます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・《付箋》の背景色は（赤・青・黄）の三種類</li> </ul>

### 《付箋》の編集と削除

[Vi] [Ma] [Mo]

●編集

方法1) 《付箋》を選択して、ローカルメニューから付箋/①編集を選択します

方法2) 《付箋》のピン先部分でダブルクリックします

●削除

方法1) 《付箋》を選択して、右クリックメニューから付箋/②はがすを選択します

方法2) 《付箋》を選択して Delete キーを押します

●《付箋》が作図されるオーバーレイについて

《付箋》はデータセット名称「\_dataset\$」=「付箋」の内部データセットに作図されます※「\_dataset\$」とは、ツリーで表示されるオーバーレイ名称「\_name\$」ではありません。オーバーレイ/データセットタブ/詳細/プロパティで確認できます

### 6.3. 作図方法について

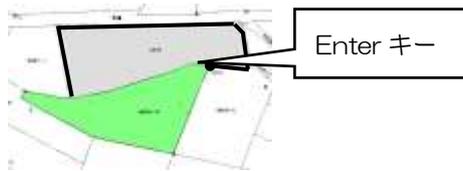
作図はコマンドボタンから実行します



#### 作図コマンド一覧

[Vi] [Ma] [Mo]

<b>ポイント</b>	ポイント	ポイントを作図します。地図上を1点クリックし作図します	[Vi] [Ma] [Mo]
<b>ポイント2点</b>	ポイント2点	ポイントを作図します。地図上を2点クリックし角度をつけて作図します	[Vi] [Ma] [Mo]
<b>テキスト</b>	テキスト	テキストを作図します。地図上を1点クリックします	[Vi] [Ma] [Mo]
<b>ライン</b>	ライン	ラインを作図します。地図上を複数点クリックします	[Vi] [Ma] [Mo]
<b>長方形</b>	長方形	長方形系エリアを作図します。地図上を2点クリックし矩形を作図します	[Vi] [Ma] [Mo]
<b>エリア</b>	エリア	エリア図形を作図します	[Vi] [Ma] [Mo]
<b>隣接エリア</b>	隣接エリア	エリアを作図します。地図上を複数点クリックします。境界上はクリックすることなくエリアを作図します	[Vi] [Ma] [Mo]
<b>座標入力</b>	座標入力	座標を入力し作図します	[Vi] [Ma] [Mo]
<b>接続リンク</b>	隣接リンク	リンク図形を作図します	[Vi] [Ma] [Mo]
<b>接続ノード</b>	接続ノード	ノード図形を作図します	[Vi] [Ma] [Mo]



座標値から作図します

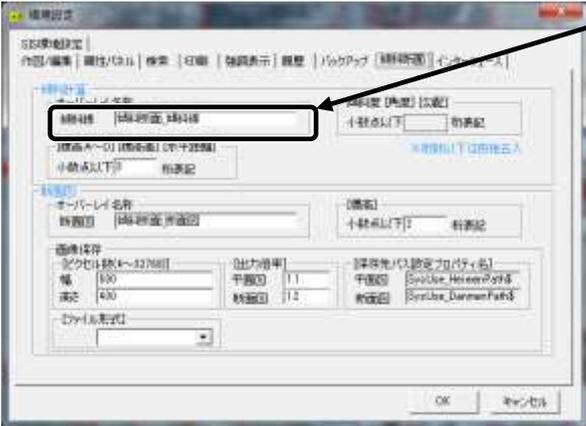
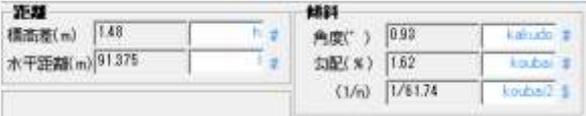
[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p>  <p>座標入力</p>	<p>① 【座標入力】 コマンドを実行します</p>
<p>②</p> <p>④</p> <p>③</p> <p>⑤</p> 	<p>② 『入力作図』 パネルが表示します</p> <p>③ 作図種類を選択します</p> <p>④ 座標値を入力します</p> <p>⑤ <b>作図</b> ボタンを押します</p>

## 6.4. 傾斜計算ラインを作図する

高さ情報から傾斜を計算（傾斜ライン作図）します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>① 傾斜計測</p>	<p>① 【傾斜計算】コマンドを実行します</p>
<p>②</p>  <p>③</p>	<p>② 高さを「オーバーレイから取得」する場合はオーバーレイの「親」と「子」を選択し、高さ属性を入力します</p> <p>③ ラインを作図する場合は「スナップ指定」ボタンを押します</p>
<p>④</p>  <p>⑤</p>	<p>※環境設定で設定したオーバーレイに作図されます</p> <p>④ 地図上を2点クリックし「Enter」キーで確定します 「Esc」キーでキャンセルします</p>
<p>⑤</p> 	<p>⑤ 計算結果（度／勾配）が表示します</p>

## 6.5. 断面図を作成する

### 高さ情報から断面図を作成します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①  断面図作成</p> <p>② </p> <p>③ </p> <p>④ </p> <p></p>	<p>① 【断面図作成】コマンドを実行します</p> <p>② オーバーレイの「親」と「子」を選択し高さ属性を入力します</p> <p>③ 【頂点】標高線の作図・【スパン】標高線の作図を選択します</p> <p>④ <b>断面線作図</b> ボタンを押します</p> <p>※環境設定で設定したオーバーレイに作図されます</p>
<p>⑤ </p>	<p>⑤ 『グリッド線の設定』パネルでグリッド間隔を指定します</p>
<p>⑥ </p>	<p>⑥ 『断面図』パネルで確認します</p>

## 6.6. 断面図から傾斜計測線を作成する

断面図から自動的に傾斜計測線を作図します

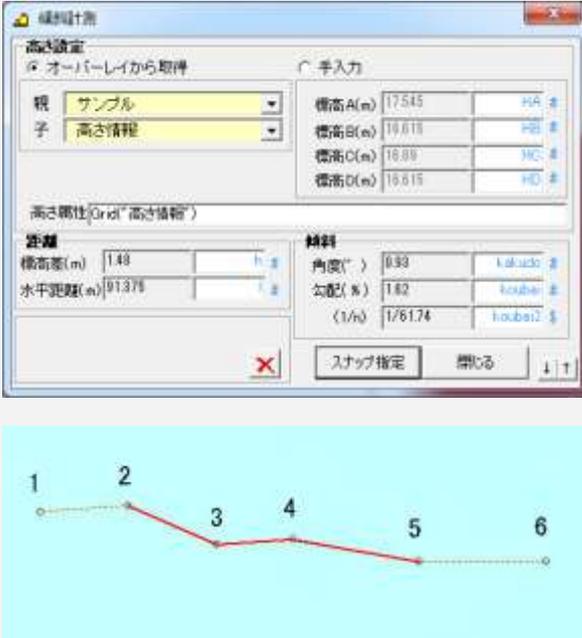
[Vi] [Ma] [Mo]

①



① 【断面図作成】コマンドを実行後、左メニューの **傾斜計測線作図** ボタンをクリックします

②



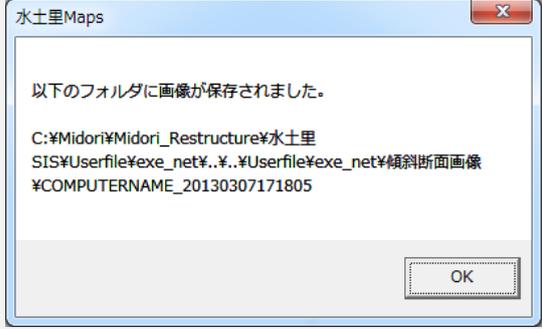
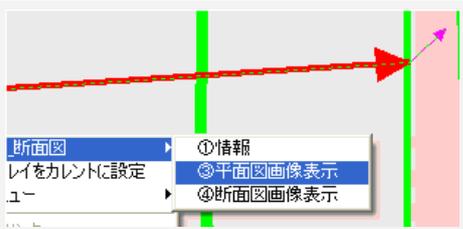
② 単体で傾斜計測線を作成したときと同様、標高、標高差、水平距離、角度、勾配の情報が『傾斜計測』パネルに表示されます

※断面図から傾斜計測線を作図した場合は、断面線の両端を除く線上に作図されます。よって、頂点数が4点以上、6点以下のときだけ傾斜計測線が作図されます

## 6.7. 画像の保存

### 断面図と平面図を画像として保存します

[Vi] [Ma] [Mo]

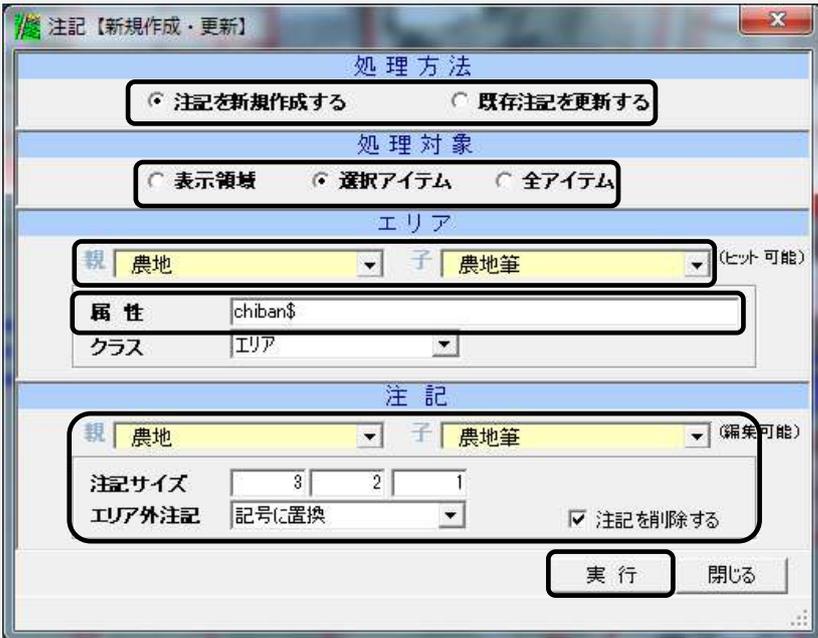
<p>①</p> 	<p>① 【断面図作成】コマンドを実行後、左メニューの <b>画像出力</b> ボタンをクリックします。</p>
<p>②</p> 	<p>② 画像は、システム環境.ini の DATA セクションにある「傾斜断面画像出力先」キーに記載したディレクトリパス内に「(PC名)_YYYYMMDDHHMMSS¥」ディレクトリが作成され保存されます。</p>
<p>③</p> 	<p>③ 出力される画像の幅・高さ（ピクセル数）、および、ファイル形式（PNG/JPEG）、出力倍率は、「環境設定」の「全般」タブで設定することができます。</p>
<p>④</p> 	<p>④ 保存後は、断面線のローカルメニューから平面図画像、断面図画像ファイルを表示することができます。</p>

## 6.8. 自動注記作図を行う

属性をもとに注記を自動で作図します

[Vi] [Ma] [Mo]

注記を引き出し線付など、さまざま表現で自動作図します

<p>① </p>	<p>① 【注記自動作図】コマンドを実行します</p>
<p>② </p>	<p>② 「処理方法」を選択します ※分筆など図形 ID (Pid&amp;) が変更された場合注記の更新は不可</p> <p>③ 「処理対象」を選択します</p> <p>④ 注記を生成する属性を持つ「エリアレイヤ」を選択します</p> <p>⑤ 注記を生成する属性を手入力します</p> <p>⑥ 注記を作成する「注記レイヤ」を選択します ※「注記サイズ」を設定します ※「エリア外注記」を設定します</p> <p>⑦ <b>実行</b> ボタンを押すと選択した図形が移動回転します</p>

### 「注記サイズ」の設定による注記生成仕様

文字がエリア内に入りきるように、注記サイズを3段階で設定します

#### ■注記サイズ「5」「5」「5」

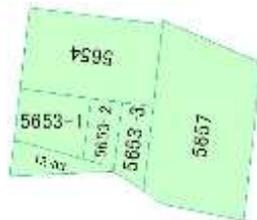
注記サイズ	5	5	5
エリア外注記	そのまま表示		



すべて5ポイントで作図されます。エリア内に作図されない注記があります

#### ■注記サイズ「5」「4」「3」

注記サイズ	5	4	3
エリア外注記	そのまま表示		



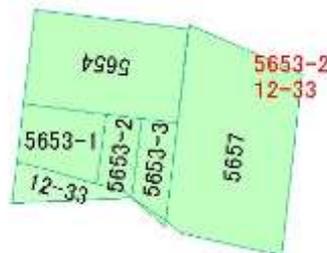
エリア内に注記が作図されます

### 「エリア外注記」の設定による注記生成仕様

エリア内に注記が入りきらなかった場合の処理方法を設定します

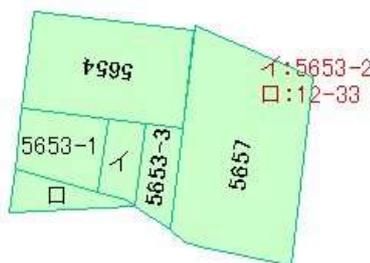
エリア外注記	そのまま表示
	そのまま表示
	記号に置換
	引出線付き

#### ■そのまま注記



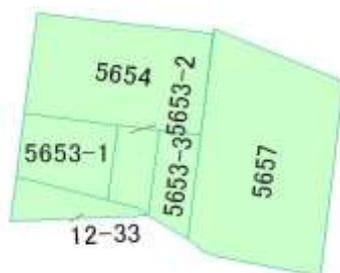
文字が入りきらない場合もそのまま作図されます。右部に入りきらなかった番号のリストが表示します

#### ■記号に置換



“ロハニホヘト・・・”  
 “いろはにほへと・・・”  
 “A B C D E F・・・”  
 “a b c d e f・・・”

#### ■引出線付き



文字が入りきらない場合に引き出し線付で作図されます

## 7. 図形の編集（移動・削除・切り取り）

作図した図形を編集する機能について説明します

### 7.1. 図形を移動する

#### 図形の移動を行います

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>① 移動対象の図形を選択しローカルメニューの【移動（1点指示）】コマンドを実行します</p>
	<p>② 地図上の移動元と移動先をクリックします</p>

#### 図形の移動・回転・拡大を行います

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>① 移動対象の図形を選択しローカルメニューの【アイテム移動】コマンドを実行します</p>
<p>②</p> 	<p>② 「拡大・縮小」を行う場合は <b>Enter</b> キーを押して『アイテム移動パネル』を表示します</p> <p>※2倍に拡大する場合は、スケールに「2」を入力します</p>
	<p>③ 地図上の移動元と移動先をクリックします</p>

## 7.2. 座標値を指定して図形を移動・回転する

### 座標値を指定して図形の移動・回転します

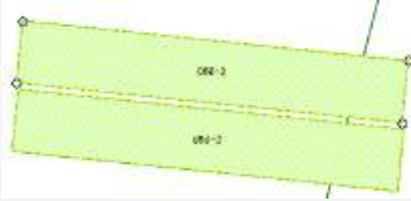
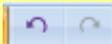
[Vi] [Ma] [Mo]

<p>① </p>	<p>① 【移動・回転】 コマンドを実行します</p>
<p>② </p> <p>③</p> <p>④</p>	<p>② 操作設定を選択します</p> <p>●操作設定は以下の3種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動</li> <li>・回転</li> <li>・移動回転</li> </ul> <p>③ <b>スナップ指定</b> ボタンを押します</p> <p>地図上の図形を選択し「移動元」と「移動先」をクリックします</p> <p>④ <b>実行</b> ボタンを押すと選択した図形が「移動・回転」します</p>

## 7.3. 図形を削除する

### 図形を削除します

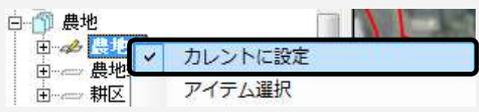
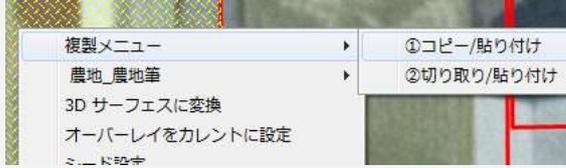
[Vi] [Ma] [Mo]

<p>① </p>	<p>① 削除対象の図形を選択します</p>
<p>② </p>	<p>② 【削除】 コマンドを実行します</p> <p>※キーボードの <b>Delete</b> キーでも同様です</p>
<p>③ </p>	<p>③ 確認メッセージで <b>はい</b> を押します</p> <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;">  ボタンでアンドゥ・リドゥが行えます         </div>

## 7.4. 図形の「貼り付け」・「切り取り」を行う

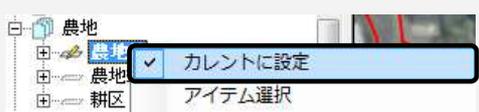
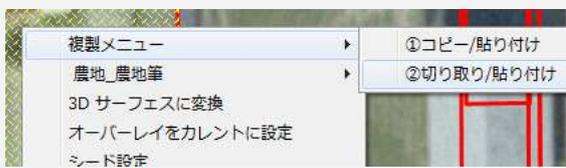
### 異なるオーバーレイ間で【コピー/貼り付け】を行います

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>① コピー先のオーバーレイをカレントに設定します</p>
<p>②</p> 	<p>② 図形を選択しローカルメニュー【複製メニュー／①コピー/貼り付け】コマンドを実行します</p> <p>③ カレントオーバーレイに図形が貼り付きます</p>

### 異なるオーバーレイ間で【切り取り/貼り付け】を行います

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>① コピー先のオーバーレイをカレントに設定します</p>
<p>②</p> 	<p>② 図形を選択しローカルメニュー【複製メニュー／②切り取り/貼り付け】コマンドを実行します</p> <p>③ カレントオーバーレイに図形が移動します</p>

#### ● Viewer

クリップボードを経由します。異なる投影法間においてはポイントアイテムのみ正常に動作します。また異なる投影法間においては「移動先オーバーレイの座標系」と同一の「表示投影法」としておく必要があります

#### ● Ma/Mo

クリップボードを経由しません（高速に処理されます）

## 8. 図形の変更（分合筆・エリア分割・履歴管理）

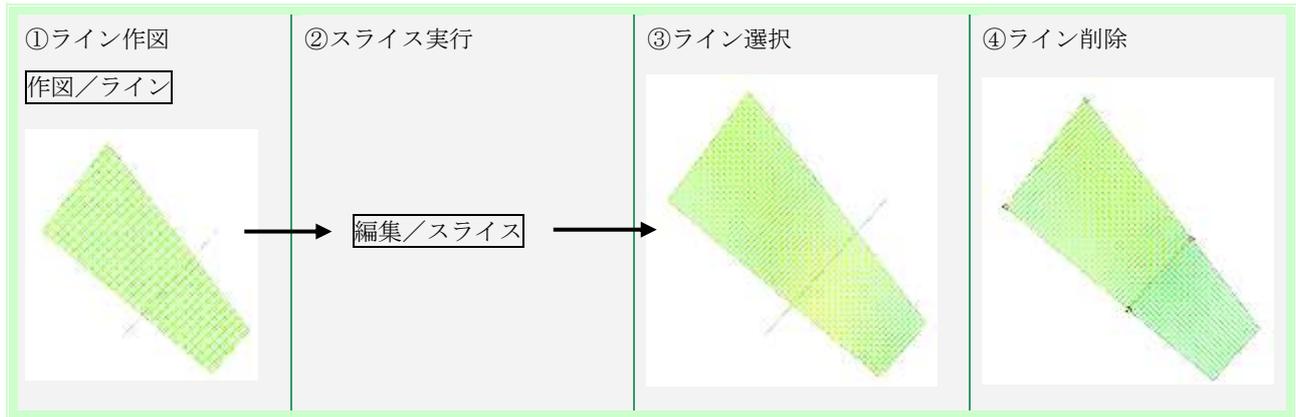
### 8.1. 分筆・合筆を行う

《農地》の「分筆」「合筆」「合筆（ディゾルブ）」を行います

#### 分筆（スライス）します

[Vi] [Ma] [Mo]

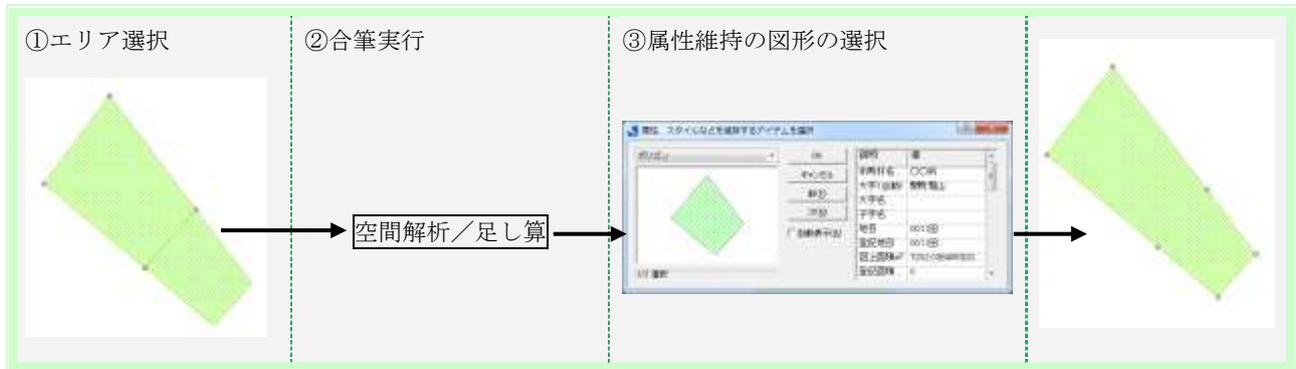
《農地》を分筆します



#### 合筆（ブーリアン）します

[Vi] [Ma] [Mo]

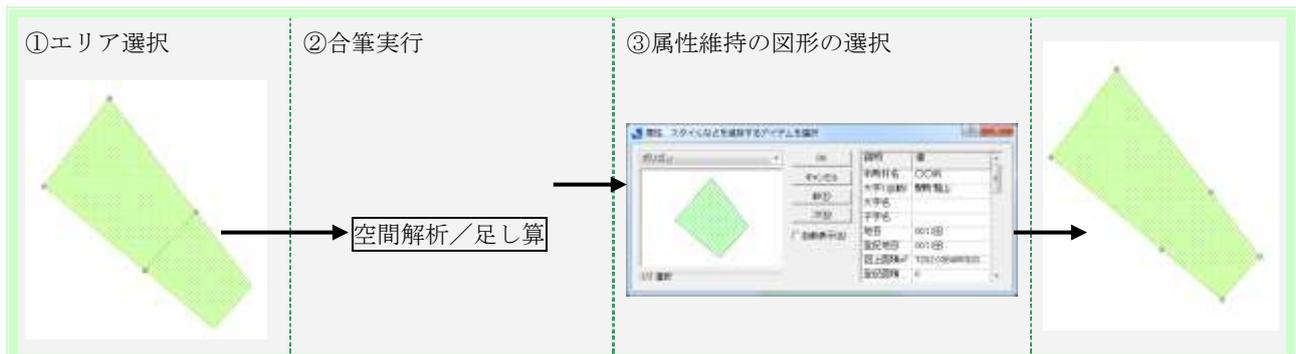
複数の《農地》を合筆します



#### 属性による合筆（ディゾルブ）します

[Vi] [Ma] [Mo]

大字ごとに合筆します



## 8.2. エリア分割を行う

面積を指定してエリアを分割します

面積を指定してエリアを分割します

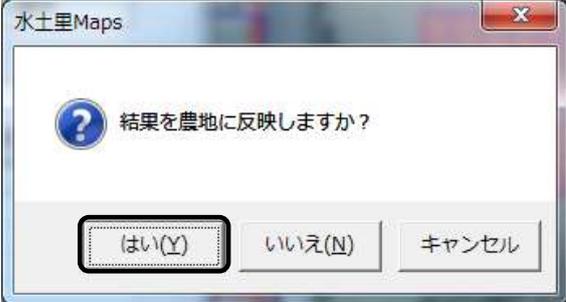
[Vi] [Ma] [Mo]

② 

③ 

④ 

1	800.000
2	800.000
3	800.000
残	229.396

⑤ 

① あらかじめ《農地筆》を選択します

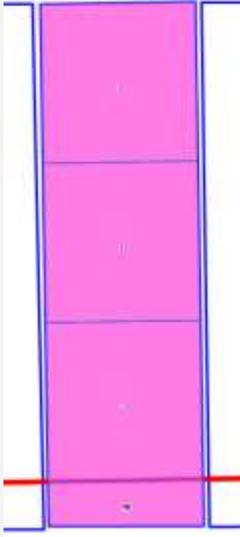
② 【エリア分割】コマンドを実行します

③ ①分割ライン選択ボタンを押しエリアの一边を指定します



④ 面積を入力し②設定ボタンを押します

⑤ 分割面積を入力し③プレビューボタンを押します



⑥ 反映して閉じるボタンを押すと『確認メッセージ』が表示されます

⑦ 『確認メッセージ』ではいボタンを押すと図形に反映します

### 8.3. 履歴管理について

[Vi] [Ma] [Mo]

あらかじめ用意された履歴オーバーレイ（名称固定\*履歴図形）に「作図・削除・移動・変更・属性の変更」履歴の情報を蓄積することができます

#### 履歴管理の環境設定方法



【環境設定】コマンドを実行し「履歴」タブで「履歴をとる」を選択します。「より詳細な履歴をとる」を選択すると「コントロールポイント移動」時の履歴も管理されます。その場合は図形を選択するたびに「強調表示\_選択」オーバーレイへの図形コピー処理が行われるため描き直しの処理が頻繁に行われるため注意が必要です

#### 「履歴図形」オーバーレイの図形に付与されるユーザ属性

履歴図形には履歴フラグとして「ユーザ属性」が付与されます

※履歴管理可能な操作は 四角 で表記

プロパティ	設定値	操作
EditDate\$	年/月/日/秒 (2013/04/01)	
Update\$	新規	システムコマンドの【施設作図】・傾斜ライン作図・自動注記
	図形変更	反転・分解・ジオメトリクリーニング・単純化・総画・スムーズ/中点・スムーズ/頂点・ブーリアン/足し算・ブーリアン/排他・ブーリアン/交差・ブーリアン/引き算・塗り潰し/塗り潰し・塗り潰し/外形線・塗り潰し/トッポウ塗り潰し・コントロールポイントの移動（より詳細な履歴をとるに <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チェック</span> ） エリア分割
	図形移動	アイテム移動・回転・変形
	削除	図形の削除
	属性変更	『属性パネル』で属性の更新

#### 注意点

[1]履歴オーバーレイは、内部データセットに構築されるため SWD ファイルがデータを保持します。そのため本機能を使用した場合でも定期的に外部データセットにバックアップをとるなどの処置をお勧めします

[2] クリップボードが常に使用されます。また「より詳細な履歴をとる」にチェックをした場合は選択ごとに処理が行われるため画面がちらついたり、処理が遅くなったりする点にも注意が必要です

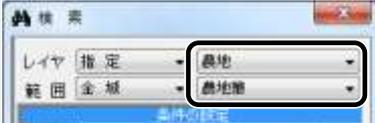
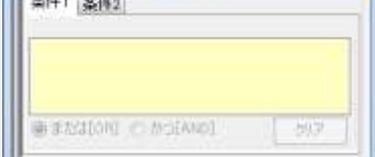
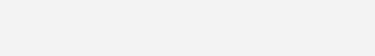
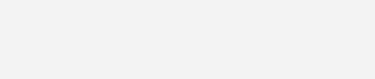
[3] 「接続リンク、接続ノード」を作図した場合の図形の履歴情報はとることができません

## 9. 検索

### 9.1. 「基本」タブ(属性を指定して《施設》を検索する)

耕作者名による検索を行います

[Vi] [Ma] [Mo]

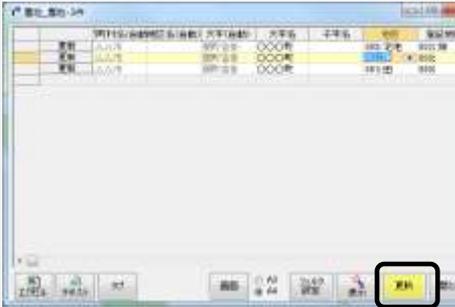
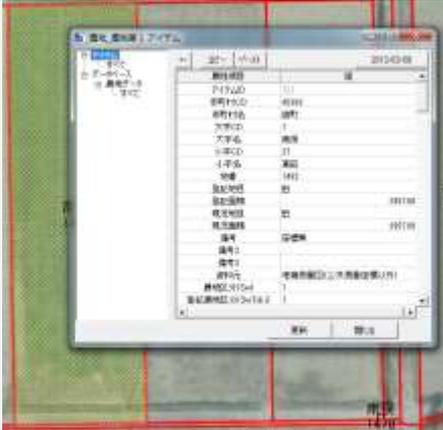
<p>①  検索</p>	<p>① 【検索】 コマンドを実行します</p>
<p>② </p>	<p>② 「親」リストは《農地》を選択します。「子」リストは《農地筆》を選択します</p>
<p>③ </p>	<p>③ 「検索項目」リストで「地番」を選択します</p>
<p>④ </p>	<p>④ 「条件: 等しい」、「値: 1483」と入力します</p>
<p>⑤ </p>	<p>⑤ 条件1 追加 ボタンを押します</p>
<p>⑥ </p>	<p>⑥ 複数条件の場合は「または (OR)」「かつ (AND)」を選択します</p>
<p>⑦ </p>	<p>⑦ 検索後、検索結果パネルを表示せず検索された図形の選択のみ行う場合は「選択のみ」をチェックします</p>
<p>⑧ </p>	<p>⑧ データベースの属性を利用する場合は「データベース処理」をチェックします</p>
<p>⑨ </p>	<p>⑨ 検索開始 ボタンを押します</p>
	<p>【データベース接続】 あらかじめデータベースに出力済みの属性を利用して検索されます。 新たに図形を作図した場合は【属性出力】コマンドを実行して図形の情報をデータベースに出力しておきます。出力方法は  属性 【属性出力】コマンドを実行し <u>属性出力</u> ボタンを押します</p> 

## 9.2. 『検索結果パネル』の操作について

検索で見つかった図形情報は「検索結果パネル」で一覧表示されます。検索結果の図形に対し、様々な操作が行えます

### 『検索結果パネル』で属性を変更します

[Vi] [Ma] [Mo]

	<p>『検索結果パネル』に直接値を入力し<b>更新</b>ボタンを押すと属性が変更します</p>
	<p>ローカルメニュー【農地_農地筆／①情報】コマンドを実行し『属性パネル』で更新します</p>

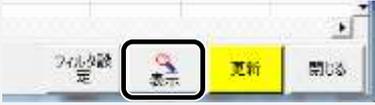
### 『検索結果パネル』の図形のみを表示します（表示フィルタ）

[Vi] [Ma] [Mo]

	<p><b>フィルタ設定</b> ボタンを押し検索結果のみを地図上に表示します  <b>フィルタ解除</b> ボタンを押しフィルタ（表示制限）を解除します</p> 
---	---

### 『検索結果パネル』から指定した図形を画面の中心に表示します

[Vi] [Ma] [Mo]



**表示** ボタンを押し《農地筆》を画面の中心に表示します

一行選択しダブルクリックを行った場合も同様に農地筆が画面の中心に表示されます

『検索結果パネル』の情報を Excel に出力します

[Vi] [Ma] [Mo]



**エクセル** ボタンを押し検索結果を Excel に出力します

環境設定の「検索タブ」で、「クリップボードを経由で出力」を選択すると高速に Excel 出力が行えます。

『検索結果パネル』の情報をテキストファイルに出力します

[Vi] [Ma] [Mo]



**テキスト** ボタンを押し検索結果をテキストファイルに出力します

### 9.3. 「経過年数」タブ（経過年数により《施設》を検索する）

経過年数による検索を行います

#### 「経過年数」タブ

■ 『検索パネル』の「経過年数」タブで操作を行います



#### 経過年数により《施設》を検索します

[Vi] [Ma] [Mo]

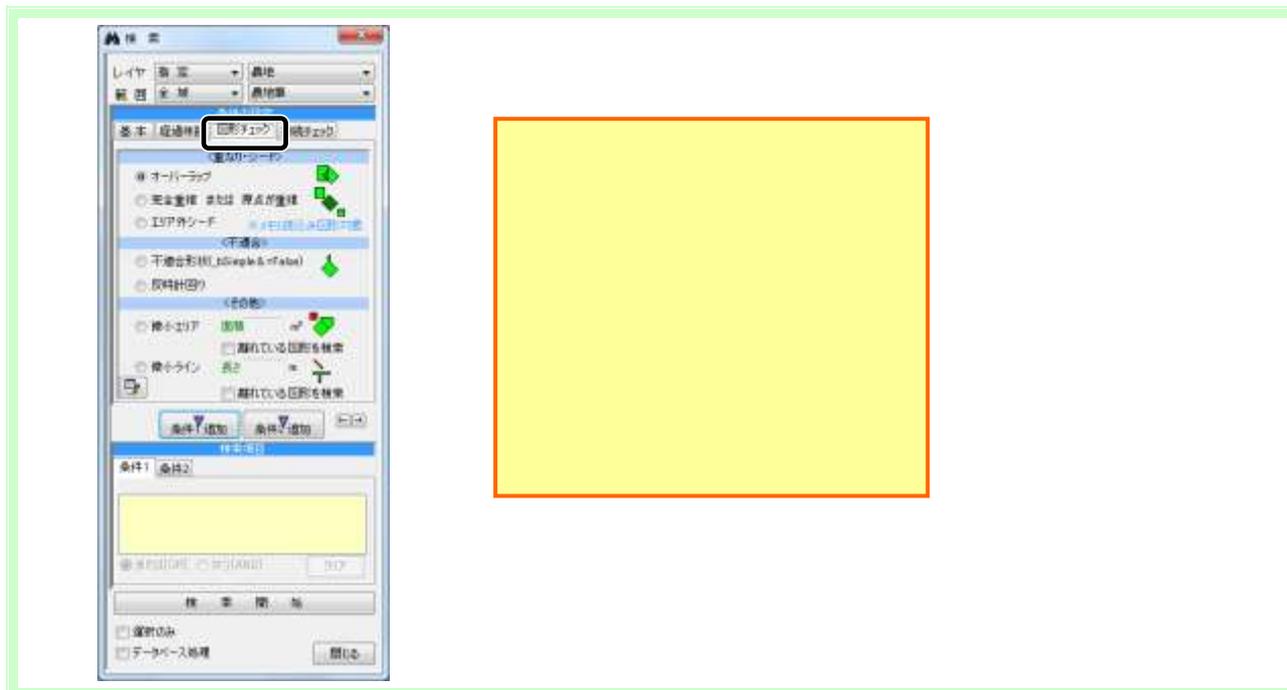
	<p>① 「経過年数」タブを表示し基準日を入力します</p> <p>② 経過年を入力します</p> <p>③ 条件1 追加ボタンを押します</p> <p>④ 検索開始ボタンを押します</p>
--	---

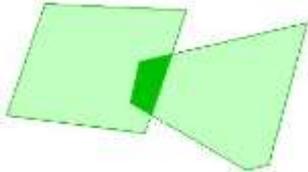
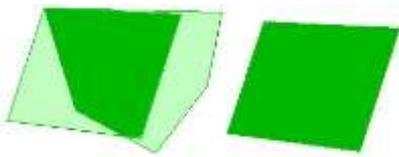
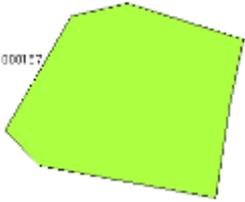
## 9.4. 「図形チェック」タブ(エラー図形を検索する)

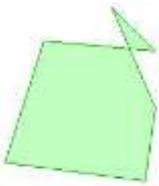
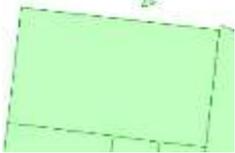
図形の形状をチェックしエラー図形を抽出します。『検索パネル』の「図形チェック」タブで操作を行います

### 図形チェックタブ

[Vi] [Ma] [Mo]



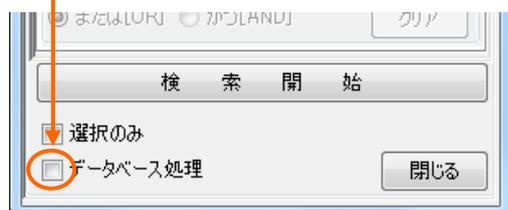
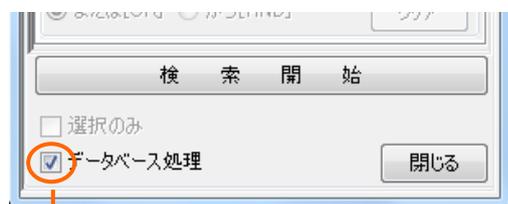
条件	説明	
オーバーラップ		<p>隣り合う図形が重なっている図形を検索します</p> <p>修正するにはエリアを選択し頂点の移動を行います</p>
	<code>_id&lt;&gt;FindItem("農地",4,2)._id&amp;</code>	
完全重複 または 原点が重複		<p>隣り合う図形が重なっている図形を検索します</p> <p>修正するにはエリアを選択し頂点の移動を行います</p>
	<code>id&lt;&gt;FindItem("農地",4,2)._id&amp;</code>	
エリア外シード		<p>エリア外に原点がある図形を検索します。ラベル主題図ではエリアの外に文字が表示されます。</p> <p>修正するには、エリアを選択しローカルメニュー【シード指定】コマンドを実行しエリア内部をクリックします</p>
	<code>("×"=If(FindItem("農地",2,0)._id&amp;,"○","×") and _class\$="Area" or _class\$="MultiArea")</code>	

条件	説明	
不適合形状		シンプルでない複雑図形を検索します
		修正するにはメインメニューの各コマンドを利用します 【変更／単純化】 【変更／ジオメトリクリーニング】 . . .
_bSimple&=0		
反時計回り		反時計回りの図形を検索します
		修正するにはメインメニューの【変更／反転】コマンドを実行します
_bClockwise&=0		
微小エリア		微小エリアを選択します
		微小エリアが不要なエリアであれば削除します
_class\$="Area" or _class\$="MultiArea" and _area#<10		
微小ライン		微小ラインを選択します
		微小さいラインが不要なラインであれば削除します
_class\$="Line" or _class\$="MultiLine" and _length#<10		

### 図形チェック機能が非表示の場合

「データベース処理」にチェックをしている場合は、図形チェック機能が使えません。

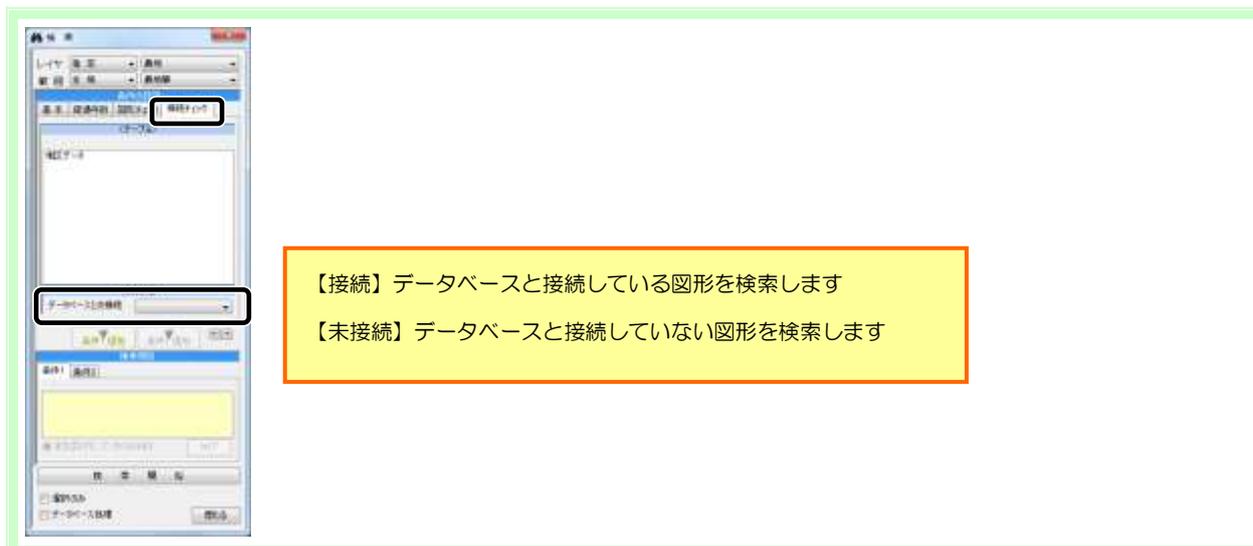
「データベース処理」のチェックをはずしておきます



## 9.5. 「接続チェック」タブ(データベース接続をチェックする)

「接続チェック」タブにおいて図形のデータベース接続状態をチェックし紐付けを行います

### 「接続チェック」タブの設定画面



図形に対してデータベースとの接続状態をチェックします

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>① 「接続チェック」タブでテーブルを選択します</p>	<p>② 検索条件として「接続」もしくは「未接続」を選択します</p> <p>③ 検索開始ボタンを押します</p>
<p>④ 『検索結果のパネル』が表示します</p> <p>検索結果リストパネルで「ID」を手入力しデータベースと図形の紐付けを行います</p>	

## 9.6. インデックスデータセットオーバーレイの図形検索

システムのライセンスレベルが Modeller/Manager においてはインデックスデータセットでメモリにロードされていない図枠範囲からも検索します

### インデックスデータセット読み込みの図形検索

[Vi] [Ma] [Mo]

	基本		経過年数		図形チェック		接続チェック	
	Viewer	Mo/Ma	Viewer	Mo/Ma	Viewer	Mo/Ma	Viewer	Mo/Ma
メモリ未ロード図形(インデックスデータセット)	×	○	×	○	×	△(※1)	×	×
領域検索(表示/選択)	×	○	×	○	×	○	×	×

(※1)図形チェックの「オーバーラップ」「完全重複または原点が重複」「エリア外シード」は、メモリにロードされた図形が検索対象です。メモリにロードされていない図形は検索対象になりません。

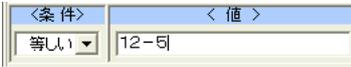
## 9.7. 機能制限について

### 機能制限について

	オプション内容	個別検索	総合検索	経過年数検索	履歴検索	図形チェック
処理方法	図形で処理	○	○	○	○	○
	データベースで処理	○	○	○	×	×
検索結果	強調表示	○	×	○	○	○
	フィルタ設定	○	○	○	×	△(※1)

(※1)図形チェックの「オーバーラップ」・「エリア外シード」は「フィルタ」を設定した場合、データ量によって時間がかかる場合があります

## 9.8. 検索条件について

	<p>●属性なしの図形を検索(例:無地番エリア)</p> <p>&lt;条件&gt;空白 &lt;値&gt;(設定無し) <b>条件1追加</b>ボタンを押します</p> <p>&lt;条件&gt;Null &lt;値&gt;(設定無し) <b>条件1追加</b>ボタンを押します</p> <p>図形検索の内部式: <code>chiban\$ = "" or Exists("chiban\$")&lt;&gt;-1</code></p> <p>属性が『空』もしくは属性を『持たない』</p>
	<p>●属性入力済みの図形を検索</p> <p>&lt;条件&gt;以外 &lt;値&gt;(設定無し) を設定し <b>条件1追加</b>ボタンを押します</p> <p>図形検索の内部式: <code>chiban\$&lt;&gt;" or Exists("chiban\$")=-1</code></p>
	<p>●全角・半角は区別して検索される</p> <p>例:属性「1 2-5」と「12-5」は別属性として扱われる</p>

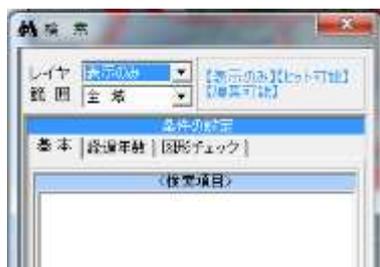
## 9.9. 複数のオーバーレイを対象に検索する

複数のオーバーレイを対象に検索します

### レイヤの設定

[Vi] [Ma] [Mo]

複数のオーバーレイを対象に図形を検索します。すべてのオーバーレイを対象にすると時間がかかるためオーバーレイのステータスを指定し、処理対象図形を絞り込みます



すべて : 「非表示」「表示のみ」「ヒット可能」「編集可能」  
 表示のみ : 「表示のみ」「ヒット可能」「編集可能」  
 ヒット可能 : 「ヒット可能」「編集可能」  
 編集可能 : 「編集可能」

## 9.10. 履歴図形を検索する

履歴オーバーレイを対象に検索します

### 履歴検索の検索条件について

[Vi] [Ma] [Mo]



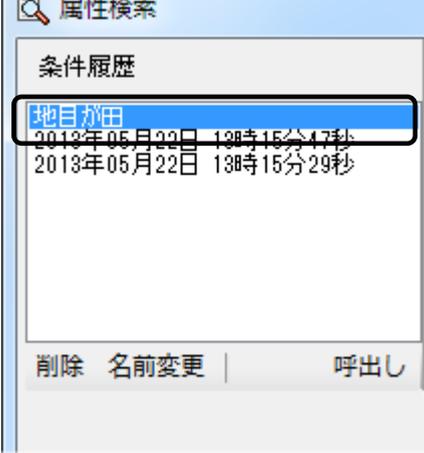
検索条件として「移動・図形変更・削除・作成・属性変更」を選択し、それらの処理が行われた図形を検索します

## 9.11.条件履歴から検索する

頻繁に利用する検索条件を条件履歴として登録することで、繰り返し利用することが可能です。

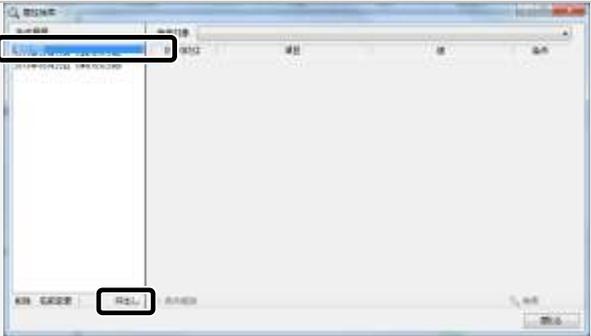
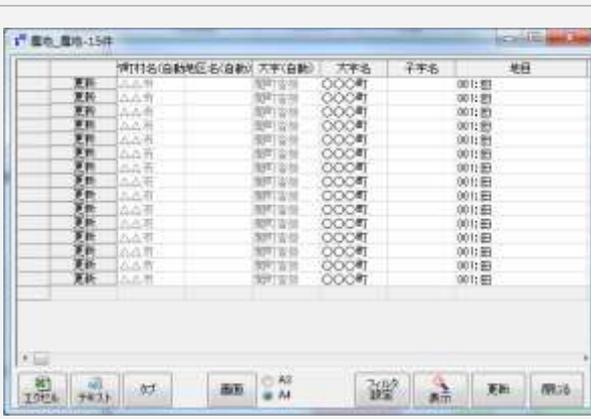
### 条件履歴を登録します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>※【属性検索】コマンドを実行し検索を行うと条件履歴に検索履歴が追加されます</p>  <p>⑤ 『属性検索』パネルで登録したい条件を選択し名前変更ボタンを押します</p>
<p>②</p> 	<p>⑥ 名前を入力しOKボタンを押します</p>
<p>③</p> 	<p>⑦ 変更した名前を確認します</p> <p>※名称を変更すると履歴を残せません。名前を変更しない場合、古い順に消去されます。</p>

登録した条件履歴から検索します

[Vi] [Ma] [Mo]

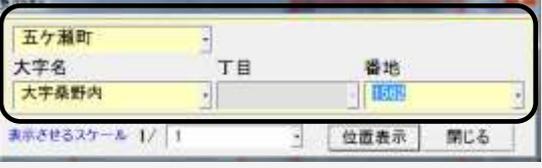
<p>①  属性検索</p>	<p>⑧ 【属性検索】 コマンドを実行します</p>
<p>② </p>	<p>⑨ 条件履歴で検索したい条件名を選択します ⑩ <b>呼出し</b> ボタンを押します ※もしくは条件名をダブルクリックします</p>
<p>③ </p>	<p>⑪ 検索した条件が表示されます ⑫ <b>検索</b> ボタンを押します</p>
<p>④ </p>	<p>⑬ 検索結果が表示されます</p>

## 10. 住所検索

### 10.1. 大字・番地で位置検索する

大字や番地を入力してその位置を表示します

[Vi] [Ma] [Mo]

①	 住所検索	①【住所検索】コマンドを実行します
②		②条件を設定します
③		③位置表示ボタンを押します

## 10.2.起動時に住所検索フォームを表示する

起動時に『住所検索パネル』を自動的に表示します

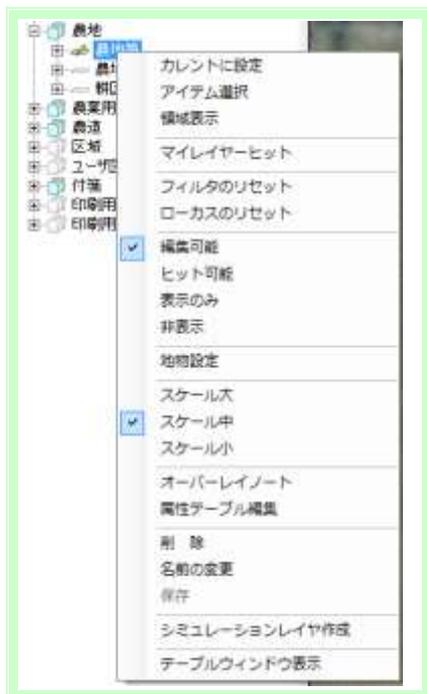
[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①  環境設定</p>	<p>①【環境設定】コマンドを実行します</p>
<p>② </p> <p>The screenshot shows the 'Environment Settings' dialog box. The 'Search' tab is selected. In the 'Search' section, the option 'Display when system starts' is checked. The 'OK' button is highlighted with a red box.</p>	<p>②「検索」タブを選択し「システム起動時に表示する」を選択し <b>OK</b> ボタンを押してパネルを閉じます</p>
	<p>③保存コマンドを実行します</p> <p>④システムを次回起動時に『住所検索パネル』が表示します</p>

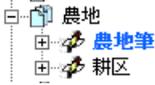
## 11. オーバーレイ操作

### 11.1. オーバーレイの右クリックコマンドについて

ツリーの子オーバーレイを選択して右クリックを行うとメニューが表示されます



## 【オーバーレイ】ローカルメニューの機能一覧

カレントに設定	 作図対象のオーバーレイを指定します	[Vi] [Ma] [Mo]	
アイテム選択	オーバーレイ上の図形をすべて選択します	[Vi] [Ma] [Mo]	
領域表示	オーバーレイ上の図形を領域表示します	[Vi] [Ma] [Mo]	
マイレイヤーヒット	マイレイヤ以外のレイヤを表示のみに設定します	[Vi] [Ma] [Mo]	
フィルタのリセット	フィルタをリセットします	[Vi] [Ma] [Mo]	
ローカスのリセット	ローカスをリセットします	[Vi] [Ma] [Mo]	
編集可能	ステータスを編集可能に設定します	[Vi] [Ma] [Mo]	
ヒット可能	ステータスをヒット可能に設定します	[Vi] [Ma] [Mo]	
表示のみ	ステータスを表示のみに設定します	[Vi] [Ma] [Mo]	
非表示	ステータスを非表示に設定します	[Vi] [Ma] [Mo]	
地物設定	地物が設定されているオーバーレイで地物毎の表示 ON,OFF を切り替えます	[Vi] [Ma] [Mo]	
スケール大		[Vi] [Ma] [Mo]	
スケール中		[Vi] [Ma] [Mo]	
スケール小		[Vi] [Ma] [Mo]	
オーバーレイノート	オーバーレイの詳細設定を行います	[Vi]※[Ma] [Mo]	
属性テーブル編集	『属性パネル』の設定を行います ※Viewer はスキーマの更新／作成不可	[Vi]※[Ma] [Mo]	
削除	オーバーレイを削除します (カレントは削除不可)	[Vi] [Ma] [Mo]	
名前の変更	オーバーレイの名前の変更します システム上で「親_子」の名称は重複しないこと	[Vi] [Ma] [Mo]	
保存	オーバーレイ (bds) の変更内容を保存します	[Vi] [Ma] [Mo]	
シミュレーションレイヤ作成	シミュレーションレイヤを作成します	[Vi] [Ma] [Mo]	
テーブルウィンドウ表示	テーブルウィンドウを表示します	[Vi] [Ma] [Mo]	

## 11.2.オーバーレイの表示・非表示を行う

### 《農地筆》オーバーレイを非表示にします

[Vi] [Ma] [Mo]

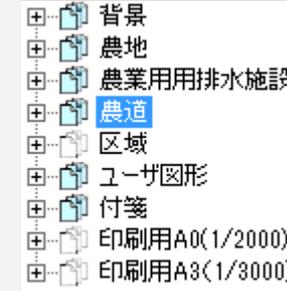
<p>①</p> 	<p>① 《農地筆》オーバーレイのアイコン部分をクリックすると「表示」 ←→「非表示」が切りかわります</p>
--	---

## 11.3.オーバーレイの順番を入れ替える

Viewer ライセンスにおいては、「同一親内」のみ移動できます

### 《農地筆》オーバーレイの順番を入れ替えます

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>① 《農地筆》オーバーレイを選択します</p>
<p>③</p> 	<p>② <b>Ctrl</b> キーを押します ③ 移動先までドラッグします</p> <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>親の移動はアイコンをクリックし <b>Ctrl</b> キーを押しながらドラッグ&amp;ドロップして移動します ([Vi] [Ma] [Mo])</p> </div>

## 11.4. シミュレーションレイヤを作成する

外部データセット (BDS) は Viewer ライセンスで編集できないためシミュレーションレイヤを作成し編集します

### シミュレーションレイヤを作成します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>① 《農地筆》オーバーレイを選択しローカルメニュー【シミュレーションレイヤ作成】コマンドを実行します</p>
<p>②</p> 	<p>② 「農地筆シミュレート1」が作成されます</p>

### シミュレーションレイヤに設定される属性

【継承される属性】

- 一般タブ (ステータス・オーバーレイノート)
- 表示タブ (スケールフィルタ)
- 主題図タブ (主題図)
- スキーマタブ (スキーマ)
- データセットタブ (データセットスケール)
- タブ表示／一覧表示

[Viewer]ライセンスで実行する場合

- スキーマ情報をシミュレーションレイヤに継承できません
  - 主題図の情報を反映するために「主題図.nol」と同一ディレクトリに「主題図.txt」ファイルを作成し、主題図状態を保存しておく必要があります。
- ※[Manager]ライセンス以上で保存すると「主題図.txt」は自動的に作成されます。

## 11.5.オーバーレイの標準色を変更する

### オーバーレイの色設定を行います

[Vi] [Ma] [Mo]

①



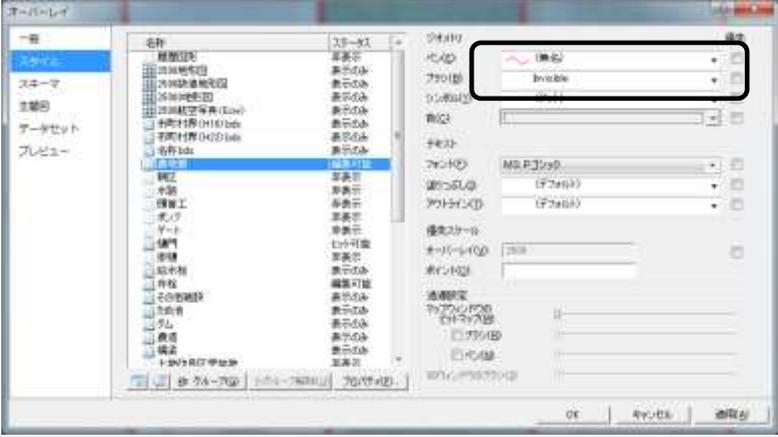
① 《農地筆》オーバーレイを選択しローカルメニュー【オーバーレイノート】コマンドを実行します。

②



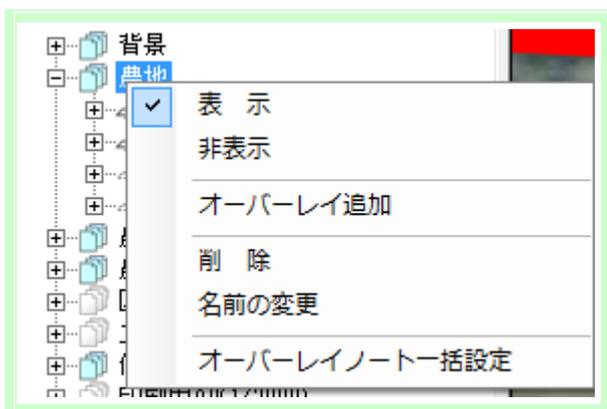
②  や  ボタンをクリックして標準の「ペン」「ブラシ」の色を設定します

『オーバーレイパネル』の設定にあたります [Vi] [Ma] [Mo]



## 11.6.親オーバーレイの右クリックコマンドについて

ツリーの親オーバーレイを選択して右クリックを行うとメニューが表示されます



### 【親】 ローカルメニューの機能一覧

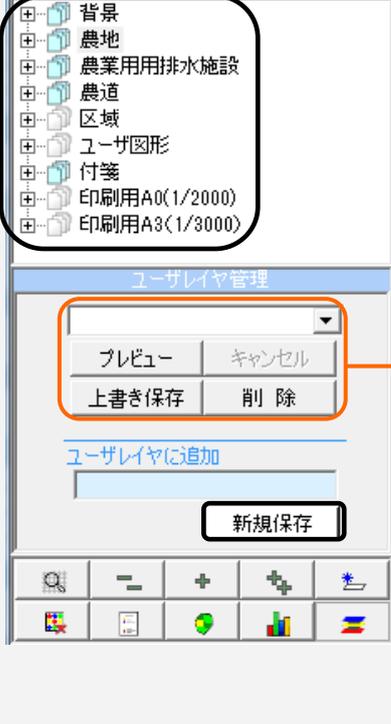
表示	<p>子オーバーレイすべてを表示します。アイコンをクリックすると同様の操作が行えます</p> <p>※前回設定していたステータスで表示されます</p>	[Vi] [Ma] [Mo]	
オーバーレイ追加	<p>新規オーバーレイ（データセット）を作成します 親内で最上位に挿入されます</p> <p>★親のローカルメニューから【オーバーレイ追加】コマンドを実行した場合は「優先ポイントスケール」は設定されません</p> <p>★【メインメニュー／オーバーレイ追加 (F2)】の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>優先ポイントスケールが「-1」に設定されます</li> <li>全オーバーレイの最上位に追加されます</li> </ul>	[Vi] [Ma] [Mo]	
削除	子オーバーレイがすべて削除されます	[Vi] [Ma] [Mo]	
名前の変更	親の名前を変更します	[Vi] [Ma] [Mo]	
オーバーレイノート一括設定	オーバーレイノート設定を一括で行います	[Vi] [Ma] [Mo]	

## 11.7.オーバーレイと主題図の表示状態を保存する

ユーザごとにオーバーレイの表示状態や主題図の表示状態を管理する機能です

### オーバーレイと主題図の状態を定義ファイルに保存します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>③ 【ユーザ管理ウィンドウを表示】コマンドを実行します</p>
<p>②</p> 	<p>④ オーバーレイと主題図の状態を確認（変更）します</p> <p>⑤ 名称を入力し <b>新規保存</b> ボタンを押します</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>●プレビュー コンボボックスを切り替えた後、プレビューボタンで、ツリーに反映します</p> <p>●キャンセル キャンセルボタンで、プレビューをキャンセルします ユーザ管理ウィンドウを表示した時点のオーバーレイ構造に戻ります</p> <p>●上書き保存 上書き保存ボタンで、現在のステータスで上書き保存されます</p> </div>

### 仕様（ユーザごとのステータス保存先）

保存ごとに 1 ファイル（テキストファイル）が作成されます。実行 Exe と同じ場所ある「ユーザ設定」フォルダに、テキストファイルが格納されます

●ファイル名

「〇〇.txt」

例) 耕作放棄地用.txt・縮尺 2500 印刷用.txt・A ユーザ用.txt など

●テキスト内容

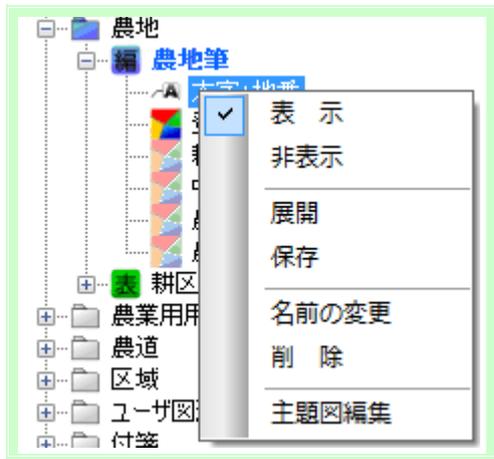
親名,オーバーレイ名,主題図名,ステータス

パイプライン,弁,弁名,0

## 12. 主題図

### 12.1. 主題図の右クリックコマンドについて

Viewer ライセンスレベルでは利用できる機能が制限されます



#### 【主題図】 ローカルメニューの機能一覧

表示	主題図を表示します	 クリックと同様	[Vi] [Ma] [Mo]	
非表示	主題図を非表示にします	 クリックと同様	[Vi] [Ma] [Mo]	
展開	主題図を展開します		[Vi] [Ma] [Mo]	
保存	主題図を保存します		[Vi] [Ma] [Mo]	
名前の変更	主題図の名前を変更します		[Vi] [Ma] [Mo]	
削除	主題図を削除します (Vi は「名称不明」のみ削除可)		[Vi] [Ma] [Mo]	
主題図編集	主題図を編集します		[Vi] [Ma] [Mo]	

## 12.2.主題図のコピー貼り付けを行う

### 主題図のコピー貼り付けを行います

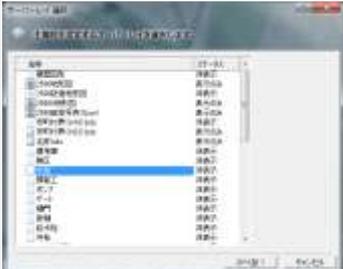
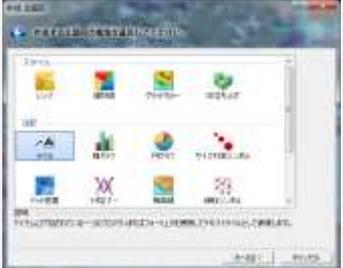
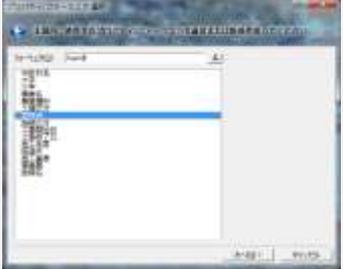
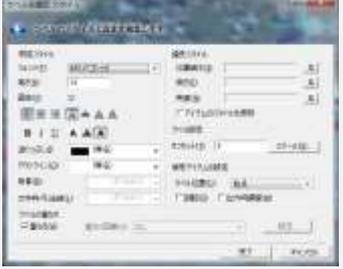
[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>① 「登記地目(農地)」主題図をマウスの左クリックで選択します</p>
<p>③</p> 	<p>② <b>Ctrl</b> キーを押します</p> <p>③ コピー貼り付け先までドラッグします</p>

## 12.3.主題図を追加する

### 名称を地図上に表示します（ラベル主題図）

[Vi] [Ma] [Mo]

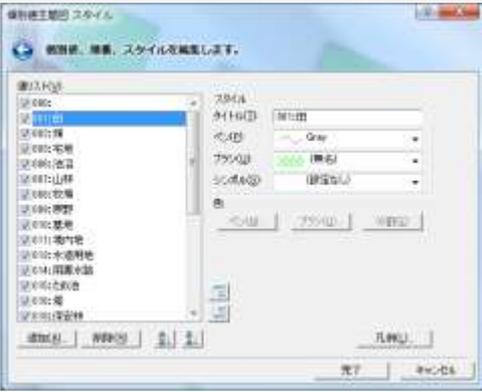
<p>①</p> 	<p>① 地図上で右クリックし、ローカルメニュー【主題図追加】コマンドを実行します ※図形の選択が解除された状態でコマンドを実行します</p>
<p>②</p> 	<p>② リストから「水路」を選択し次へボタンを押します</p>
<p>③</p> 	<p>③ 「ラベル」を選択し次へボタンを押します</p>
<p>④</p> 	<p>④ リストから「管理者」を選択し次へボタンを押します</p>
<p>⑤</p> 	<p>⑤ スタイルを設定し完了ボタンを押します</p>
<p>⑥</p> 	<p>⑥ 「管理者」が地図上に表示します</p>

## 12.4.主題図を編集する

主題図のスタイルを編集します(個別値主題図 地目ごと色わけ設定の変更)

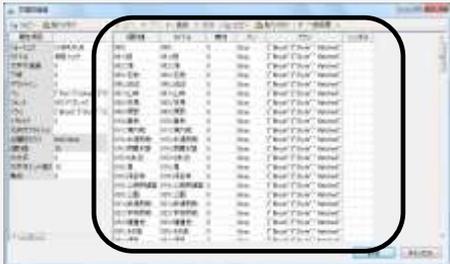
「主題図 スタイル」パネルを使用して変更する場合

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>① ツリーウィンドウを表示ボタンを押します</p>
<p>②</p>  <p>③</p> <p>④</p>	<p>② 『ツリーウィンドウ』パネルが表示します</p> <p>③ 左上の ▶ ボタンを順次クリックし、ツリーを展開します</p> <p>④ 編集したい主題図（地目ハッチ）を選択しダブルクリックします</p>
<p>⑤</p> 	<p>⑤ 『個別値主題図スタイル』パネルで色を変更します</p>

## 「主題図編集」パネルを使用して変更する場合

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>① ツリーの主題図を選択して右クリックし、ローカルメニュー【主題図編集】コマンドを実行します</p>
<p>②</p> <p>③</p> 	<p>② 『主題図編集』パネルが表示します</p> <p>③ 右側の一覧から編集したい地目ハッチの項目を選択し、編集します</p> <p style="border: 1px solid orange; padding: 5px;">ペンやブラシの色の値は、名前か JSON コードで指定します。</p>
<p>④</p> 	<p>④ <b>設定</b> ボタンを押します</p>

## 主題図編集パネルについて

パネルの左側は主題図のプロパティの一覧を表示し、右側は個別の項目のプロパティの一覧を表示します。設定する項目値については SIS のヘルプの主題図の説明を参照してください。

【左側一覧のメニュー項目】

コピー	左側一覧の項目名と値をクリップボードにコピーします
貼り付け	左側一覧にクリップボードの値を貼り付けます (項目名を含むコピーしたすべての項目を貼り付けます)

【右側一覧のメニュー項目】

上へ	右側一覧の選択された項目を上に移動します
下へ	右側一覧の選択された項目を下に移動します
追加	右側一覧に項目を 1 行追加します
削除	右側一覧の選択された項目を削除します
コピー	右側一覧のすべての項目値をクリップボードにコピーします
貼り付け	右側一覧にクリップボードの値を貼り付けます (すべての項目値をクリップボードにコピーし、貼り付けます)
一括処理/ブラシ不透過	右側一覧のブラシの項目値をすべて不透過に設定します

## 13. データベース接続

[Vi] [Ma] [Mo]

Access・Excel・csv の外部ファイルから属性データを取り込みます。データベースのレコードとアイテムをリンクさせることができ、アイテムの付属情報として利用します。

[SIS]

データベース

接続キー：大宇+地番

大宇地番	大宇	地番	面積	面積率	用途	用途地番
00001	000	001	1725.22	0.0	23	001:田
00002	000	002	1725.0025	0.0	23	001:田
00003	000	003	889	0.0	23	001:田
00004	000	004	3067	0.0	23	001:田
00005	000	005	479	0.0	23	001:田
00006	000	006	54	0.0	23	001:田
00007	000	007	1110	0.0	23	001:田
00008	000	008	734	0.0	23	001:田
00009	000	009	1090	0.0	23	001:田
00010	000	010	1019	0.0	23	001:田
00011	000	011	14	0.0	23	001:田
00012	000	012	6910	0.0	23	001:田
00013	000	013	4061	0.0	23	001:田
00014	000	014	1917	0.0	23	001:田
00015	000	015	591	0.0	23	001:田
00016	000	016	142	0.0	23	001:田
00017	000	017	1126	0.0	23	001:田
00018	000	018	443	0.0	23	001:田
00019	000	019	456	0.0	23	001:田
00020	000	020	1063	0.0	23	001:田
00021	000	021	4497	0.0	23	001:田
00022	000	022	2075	0.0	23	001:田
00023	000	023	2798	0.0	23	001:田

### 13.1.仕様

- 接続方法はオーバーレイパネルを使用する方法と、テーブル取込パネルを使用する2つがあります
- オーバーレイパネルを使用して接続する場合、接続キーとして利用できる**データベースのカラム数は1つ**です  
(ACCESSで2つ以上のカラムを接続キーとして利用する場合は「クエリーテーブル」を作成して1カラムとして定義します)  
接続キーが2つ以上になる場合は、テーブル取込パネルを使用して接続します
- データベース(mdb)の接続情報は**絶対パス**で保存されるため、水土里 Maps データ環境の移動には注意が必要です
- データベース接続状態を Manger・Modeller レベルで保存します。**Viwer レベル**で接続状態の起動が可能です

## 13.2. 接続アプリケーションの動作の違いについて

---

データベースのアプリケーションによって取り込み後の属性の型が異なります

### Excel

型を入力された値より認識します。「文字 (\$)」「整数 (&)」として取り込まれます

Excelにはテーブルがありません。そのため、あらかじめ以下の設定を行っておきます

上行 100 行を基準としてデータベースの型を認識します

- ① エクセルシート上で、データのあるセルをすべて選択します
- ② 挿入 / 名前 / 定義コマンドを実行します
- ③ 名前は、エクセルシート名と同一とします

### Access

テーブルのデザインより型を認識します。「文字 (\$)」「整数 (&)」**「実数 (#)」**として取り込まれます

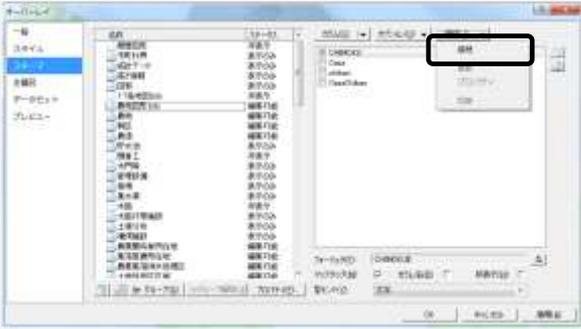
### Csv

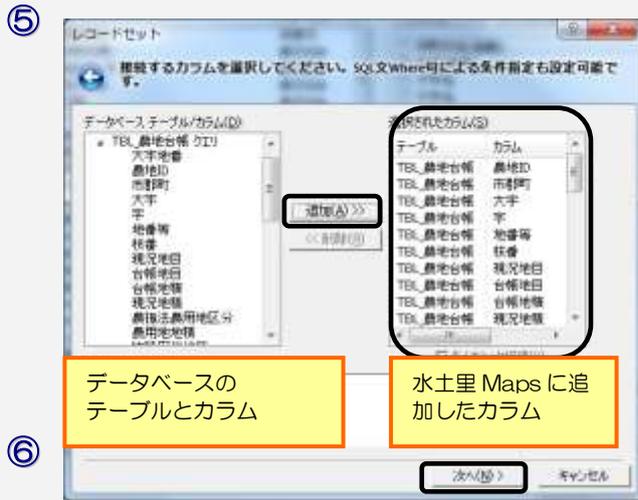
Csv は型を認識できません

## 13.3.オーバレイパネルからデータベースを取り込む

### データベースをシステムに取り込みます

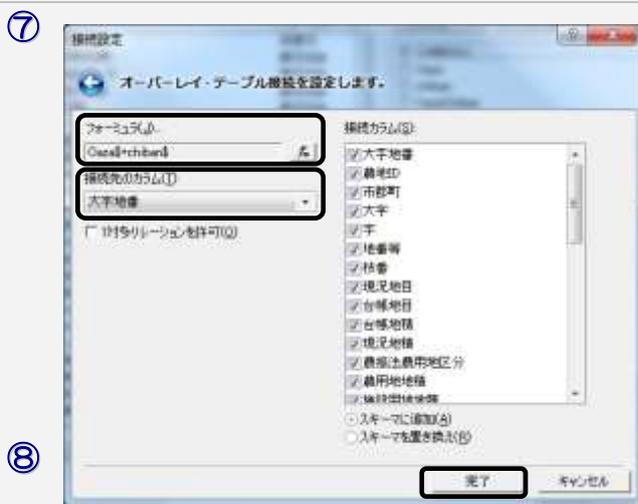
[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p>  <p>オーバーレイ</p>	<p>① ホームタブの【マップ】で【オーバーレイ】コマンドを実行します</p>
<p>②</p> 	<p>② オーバレイリストから、テーブル接続するオーバーレイを選択し、「スキーマ」の「接続▼/接続」を選択します</p>
<p>③</p> 	<p>③ 『データベースタイプ 選択』パネルで接続方法を選択し、<b>次へ</b>ボタンを押します。ここでは「ファイル直接読み込み」を選択します</p>
<p>④</p> 	<p>④ 『データベースファイル参照』パネルで mdb ファイルを選択し <b>次へ</b>ボタンを押します</p>



⑤ 『レコードセット』パネルの「データベース テーブル/カラム」でカラムを選択し追加ボタンを押します

テーブルに含まれるカラムをすべて接続する場合は、テーブル名を選択して追加ボタンを押します



⑥ 次へボタンを押します

⑦ 『接続先設定』パネルで接続キーを指定します。データベース側のキーとするカラムを指定します



⑧ 完了ボタンを押します

⑨ 『オーバーレイ』パネルにテーブルを参照するスキーマカラムが追加された事を確認しOKボタンを押します



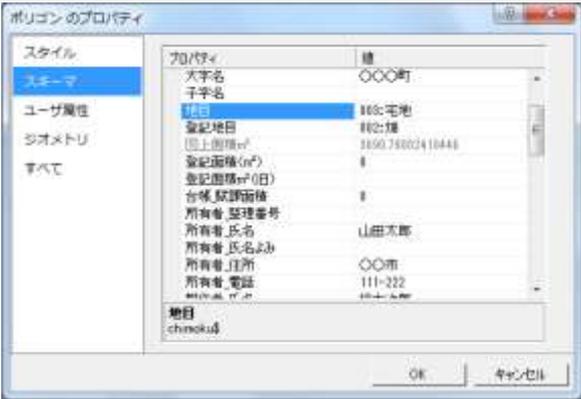
⑩ 【図形を選択/右クリック/プロパティ】コマンドを実行します。「スキーマ」選択しデータベースの属性が図形に取り込まれている事を確認します

⑪ 【保存】コマンドを実行し接続設定を保存します

## 13.4. テーブル取込パネルからデータベースを取り込む

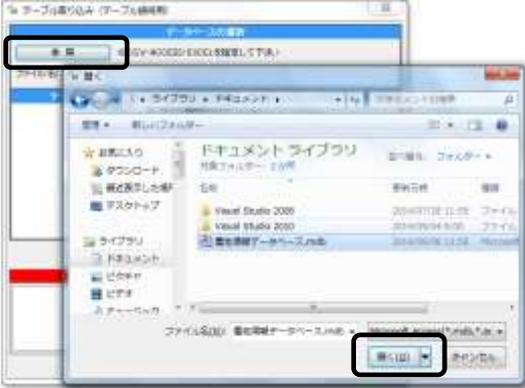
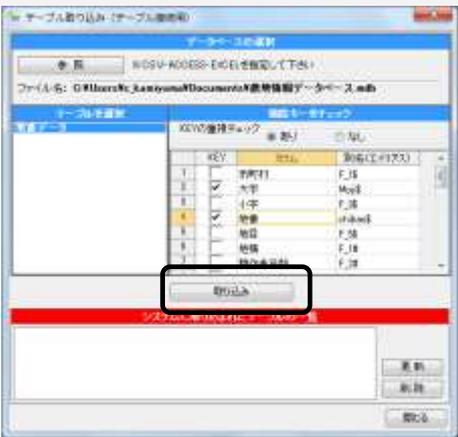
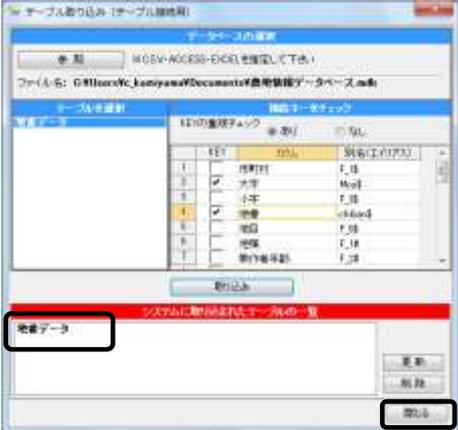
### 接続するプロパティ名の確認

[Vi] [Ma] [Mo]

	<p>① 【図形を選択/右クリック/プロパティ】コマンドを実行します</p>
<p>②</p> 	<p>② スキーマを選択し、データベースの接続キーとなるプロパティの名称を確認します</p> <p>ここでは大字と地番の2つをキーとして接続するため、「大字」が「Moji\$」、「地番」が「chiban\$」であることを確認します</p>

# データベースをシステムに取り込みます

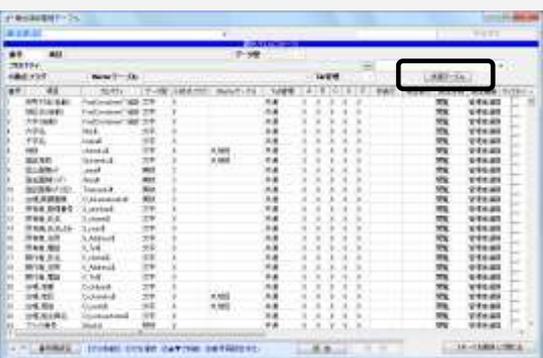
[V] [Ma] [Mo]

<p>① <b>テーブル接続</b></p>	<p>① <b>【テーブル接続】</b> コマンドを実行します</p>
<p>②</p> 	<p>② <b>参照</b> ボタンを押してデータベースを指定し、 <b>開く</b> ボタンを押します</p>
<p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p> 	<p>③ 「<b>テーブルを選択</b>」一覧から取り込みたいテーブルを選択します</p> <p>④ 右側の一覧で、接続キーとなるカラムの「KEY」をチェック、「別名」をあらかじめ確認しておいたプロパティ名に変更します (ここでは「大字」と「地番」のKEY をチェックし、別名をそれぞれ「Moji\$」、「chiban\$」に変更します)</p> <p>⑤ <b>取り込み</b> ボタンを押します</p> <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>KEY の重複チェックが「あり」にチェックされている場合、取り込み実行時に KEY 設定されたデータの重複チェックを行います</p> </div>
<p>⑥</p> 	<p>⑥ 「システムに取り込まれたテーブルの一覧」にテーブルが追加されている事を確認し <b>閉じる</b> ボタンを押します</p>

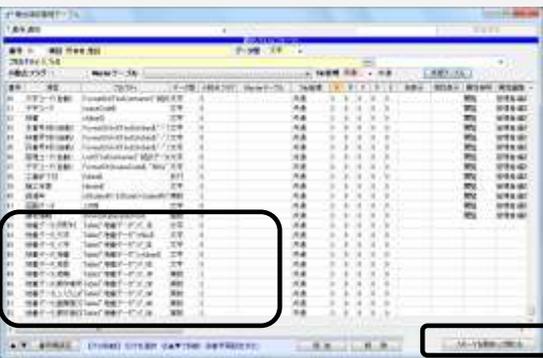
追加属性の設定を行います

[Vi] [Ma] [Mo]

- ⑦ 

⑦ ツリーのオーバーレイを選択して右クリックし、ローカルメニュー【属性テーブル編集】コマンドを実行します
- ⑧ 

⑧ 外部テーブルボタンを押します
- ⑨ 

⑨ 属性として取り込みたいテーブルを選択し、追加ボタンを押します  
(テーブルのすべてのカラムを取り込みます)
- ⑩ 

⑩ 取り込まれた項目を確認します  
必要があれば項目名を編集します  
不要な項目がある場合は、削除ボタンで削除し、番号再設定ボタンを押します
- ⑪ 

⑪ スキーマを更新して閉じるボタンを押し、編集を終了します
- ⑫ 

⑫ 【図形を選択/右クリック/プロパティ】コマンドを実行します。  
「スキーマ」を選択しデータベースの属性が図形に取り込まれている事を確認します

# 14. データベースの利活用（外部システム連携）

[Vi] [Ma] [Mo]

データベース（Access）属性を参照します。外部システムで運用している Access があつた場合など地図から Access 情報を参照し利活用します

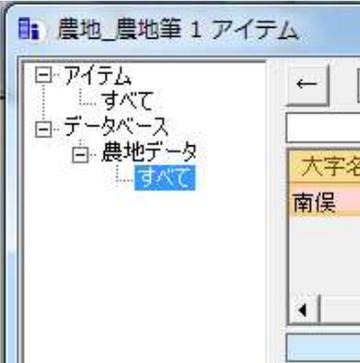
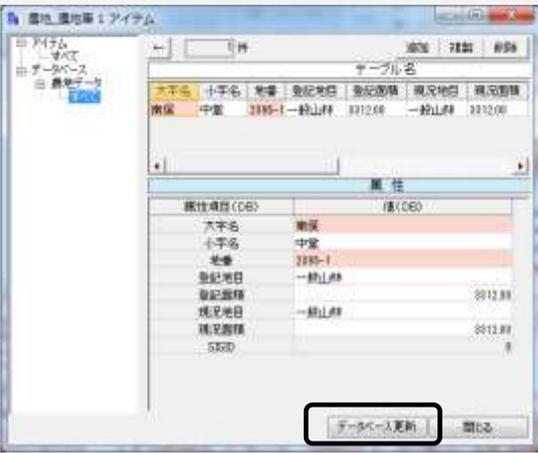
☆本機能を利用するための環境設定については【管理マニュアル】

『8章データベースの参照の設定』に記載されています

## 14.1.外部システムのデータベース情報を参照する

### データベース情報を参照します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①  属性表示</p>	<p>① 《農地筆》を選択し【属性表示】コマンドを実行します</p>
<p>② </p> <p>③ 左ツリーでデータベースのすべてを選択します</p>	<p>② 『属性パネル』が表示します</p> <p>③ 左ツリーでデータベースのすべてを選択します</p>
<p>④ </p> <p>⑤ データベース更新ボタンを押します</p>	<p>④ 農地情報が表示されます</p> <p>⑤ 更新する場合はデータベース更新ボタンを押します</p>

## 14.2.図形へ「インポート」DBへ「エクスポート」する

選択図形に「データベース」の情報を「ユーザ属性」に「インポート」します

[Vi] [Ma] [Mo]

①		① 図形を選択します
②		② 【インポート】コマンドを実行するとデータベース情報がユーザ属性にとりこまれます

選択図形の「ユーザ属性」を「データベース」に「エクスポート」します

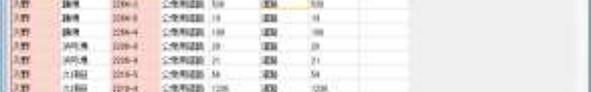
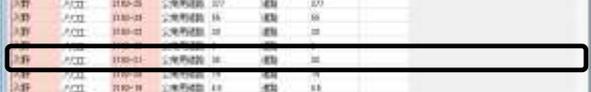
[Vi] [Ma] [Mo]

①		① 図形を選択します
②		② 【エクスポート】コマンドを実行するとユーザ属性がデータベースの該当レコードに出力されます

## 14.3.データベース情報を利用して検索する

データベース情報により検索します

[Vi] [Ma] [Mo]

①		① 【データベース検索】コマンドを実行します
②		② 『データベース情報の検索パネル』が表示します
③		③ 条件を設定し検索開始ボタンを押します
④		④ 一行選択します
⑤		⑤ 表示ボタンを押して、図形を画面の中央に表示します

## 図形とデータベースとの接続状態を確認します

[Vi] [Ma] [Mo]

① 基本 接続チェック | 設定 |



②

① 「接続チェック」タブを表示します

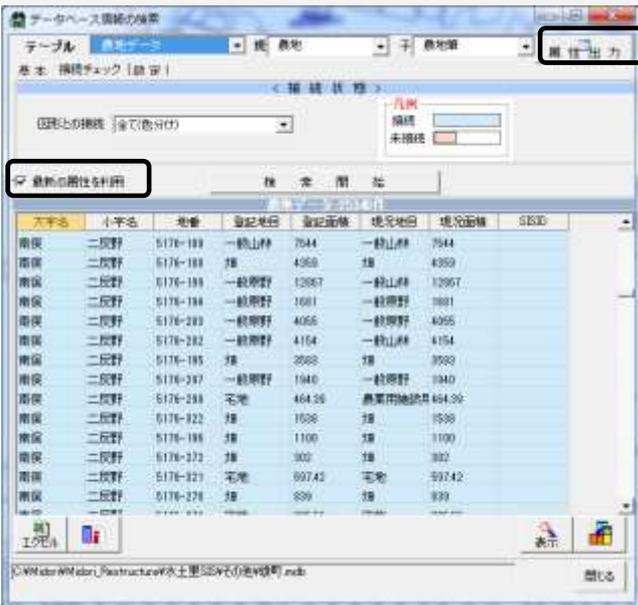
② 「全て (色分け)」を選択します

【全て (色分け)】 : 「接続」と「未接続」レコードの色分け

【接続】 : 図形と接続済みのレコード

【未接続】 : 図形と接続していないレコード (データベースの属性を修正し紐付けする)

③



③ 検索開始ボタンを押した後、『データベース情報の検索パネル』が表示します

- \* 「接続チェック」は、データベースに属性を出力してデータベースで処理するように変更されました
- \* 「最新の属性を利用」にチェックを入力した場合、常に最新の属性をデータベースに出力して検索します
- \* 手動で行う場合は、**属性出力**ボタンで、最新の属性をデータベースに出力することができます

## 未接続データの紐付けを行います

[Vi] [Ma] [Mo]

④



④ 『データベース情報の検索パネル』が表示します。**更新パネル表示**ボタンを押します

⑤



⑤ 接続キーを入力し、**データベース更新**ボタンを押して図形との紐付けを行います

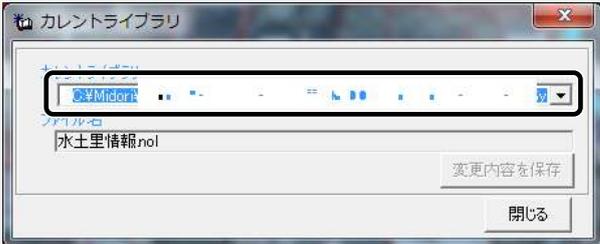
# 15. テンプレート印刷

## 15.1. テンプレートを用意する

あらかじめ用意されているテンプレートを利用できますが、ここでは新規に作成します

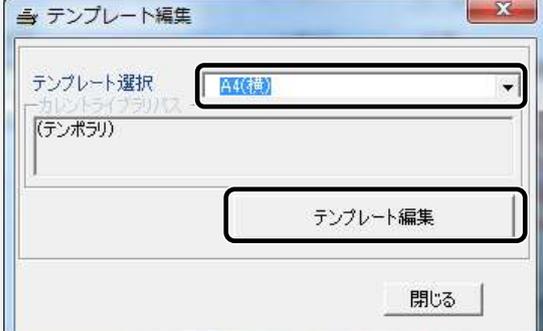
### ライブラリをカレントに設定します

[Vi] [Ma] [Mo]

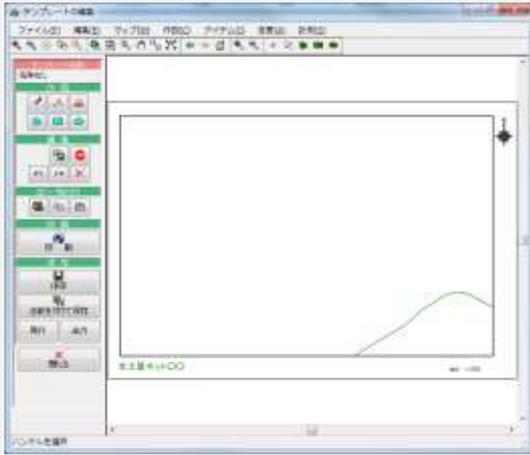
<p>① </p>	<p>① 【カレントライブラリ】 コマンドを実行します</p>
<p>② </p> <p>③ </p>	<p>② 「カレントライブラリ」を選択します</p> <p>③ 閉じる ボタンを押します</p>

### テンプレートを編集します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>④ </p>	<p>④ 【テンプレート編集】 コマンドを実行します</p>
<p>⑤ </p> <p>⑥ </p>	<p>⑤ 「テンプレート」を選択します</p> <p>⑥ テンプレート編集 ボタンを押します</p>
<p>⑦ </p>	<p>⑦ 必要に応じて  コマンドを実行し、テンプレートにタイトルを配置します。配置方法は位置を指定し Enter キーを押します</p>

⑧



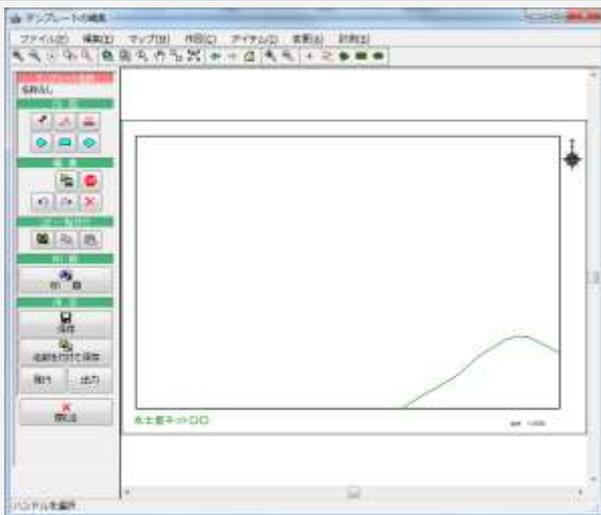
⑧ 図形には属性を付加します

※1 例えば縮尺 (1 : 2500) はポイントテキストで作図します  
 ユーザ属性「PrintItemType&」に「2」を入力します

※1 ポイントテキスト (縮尺) の作成手順

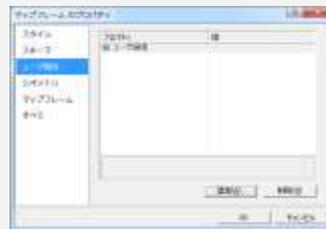
- (1) 『テンプレートの編集』ダイアログでポイントテキストを配置します
- (2) ポイントテキストを選択しローカルメニューから【プロパティ】コマンドを実行します
- (3) ユーザ属性タブで追加ボタンを押します
- (4) 『ユーザ属性パネル』で「プロパティ名」に「PrintItemType&」を入力し「値」は「2」を指定します

⑪



⑨ 全体図フォトを配置 (コピー/貼り付け) します

※2 全体図フォトとして二つ以上のマップフレームを配置した場合は「SetScale#」属性に固定スケールを入力しておきます



⑩ 領域表示ボタンを押してテンプレートを領域表示します

⑪ 名称を入力しライブラリに保存ボタンを押します

※2 フォトプロパティ (全体図) の作成手順

- (1) フォトを選択しローカルメニューから【プロパティ】コマンドを実行します
- (2) ユーザ属性タブで追加ボタンを押します
- (3) 『ユーザ属性パネル』で「プロパティ名」に「SetScale#」を入力し「値」は「20000」など全体図フォトのスケールを指定します

☆例えば「AO」「縮尺 1000」で印刷する場合、「SetScale#」は「20000」とします

「全体図フォト」で「筆データ」を印刷しない設定: 「農地オーバーレイ」に「最大スケール」を設定します

「メインフォト」で「図郭番号」を印刷しない設定: 「図郭オーバーレイ」に「最小スケール」を設定します

## ライブラリを保存します

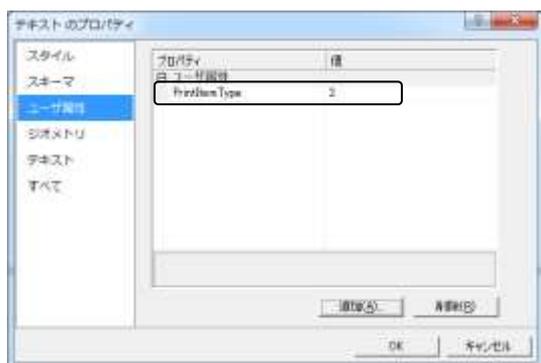
[Vi] [Ma] [Mo]

次回の起動時においてテンプレートを利用したい場合は、ライブラリを保存しておきます

⑫		⑫ 【カレントライブラリ】 コマンドを実行します
⑬		⑬ 変更内容を保存 ボタンを押します
⑭		⑭ 閉じる ボタンを押します

## 補足：テンプレート図形の固定プロパティ

プリントテンプレートに配置した図形に対してはユーザ図形を付加しておきます。例えば縮尺としては位置指定しているポイントテキストに縮尺を表示させるためには（1：2000）ポイントテキストのユーザ属性「PrintItemType&」に「2」の属性を付与しておきます

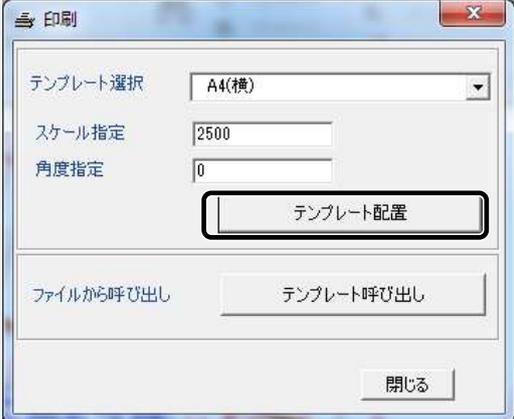
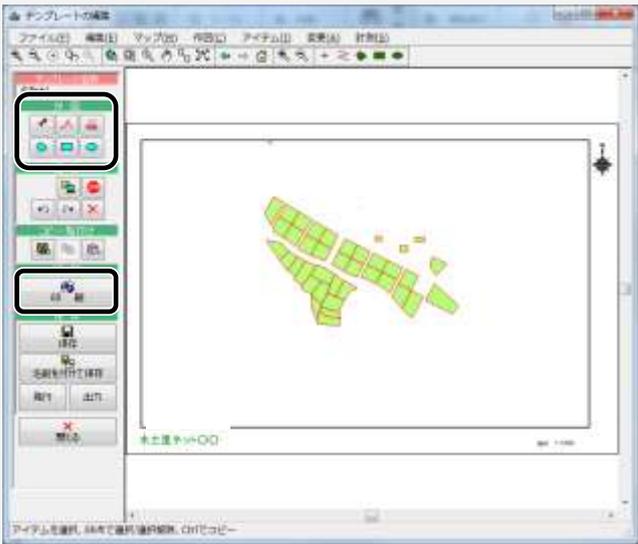


プロパティ	設定値	フォト上での役割	アイテムクラス (詳細)
PrintItemType&	1	スケールバー	ポイント
	2	縮尺 (縮尺)	ポイントテキスト
	3	方位シンボル	ポイント
	4	メインフォト	マップフレーム
SetScale#	10000 (例) ※フォトの固定スケールを入力	全体図フォト	マップフレーム (一つのテンプレートに複数のマップフレームを配置した場合に利用します)

## 15.2.一枚ずつ印刷する

### テンプレート印刷を行います

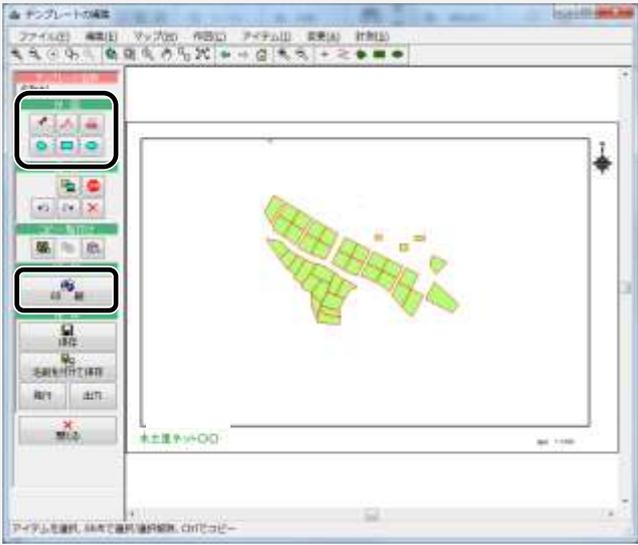
[Vi] [Ma] [Mo]

<p>① </p>	<p>① 【印刷】 コマンドを実行します</p>
<p>② </p> <p>③ <b>テンプレート配置</b> ボタンを押します</p>	<p>② 各設定を行います</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テンプレート選択</li> <li>・スケール指定</li> <li>・角度設定</li> </ul> <p>③ <b>テンプレート配置</b> ボタンを押します</p>
<p>④ </p> <p>⑤ <b>印刷</b> ボタンを押します</p> <p>⑥ </p> <p>⑥ <b>印刷</b> ボタンを押します</p>	<p>④ 地図上をクリックすると編集画面が表示します</p> <p>⑤テンプレートを編集します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト</li> <li>・ポイント</li> <li>・ライン</li> <li>・エリア</li> </ul> <p>★作図のスタイルは環境設定で行います</p> <p>⑥ <b>印刷</b> ボタンを押します</p>

地図上で印刷したい範囲を指定して印刷することもできます

印刷範囲を指定してテンプレート印刷を行います

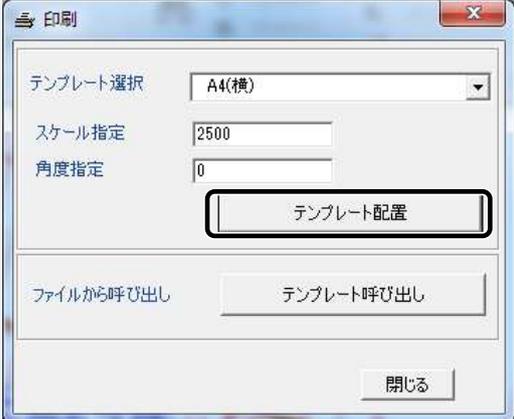
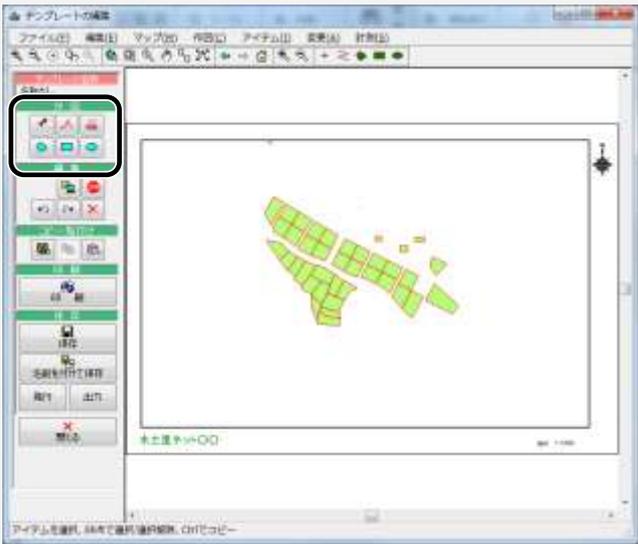
[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①  範囲印刷</p>	<p>① 【範囲印刷】 コマンドを実行します</p>
<p>② </p> <p>③</p>	<p>② テンプレートを選択します</p> <p>③ 範囲指定開始ボタンを押します</p>
<p>④ </p> <p>⑤</p> <p>⑥</p>	<p>④ 地図上の対角線上の2点をクリックすると、編集画面が表示します</p> <div data-bbox="927 779 1410 958" style="border: 2px solid orange; background-color: yellow; padding: 5px;"> <p>指定された2点を対角とする矩形領域がテンプレートのマップフレーム内に表示されるようにスケール設定されます</p> </div> <p>⑤テンプレートを編集します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト</li> <li>・ポイント</li> <li>・ライン</li> <li>・エリア</li> </ul> <p>⑥印刷ボタンを押します</p>

## 15.3.テンプレートを保存する

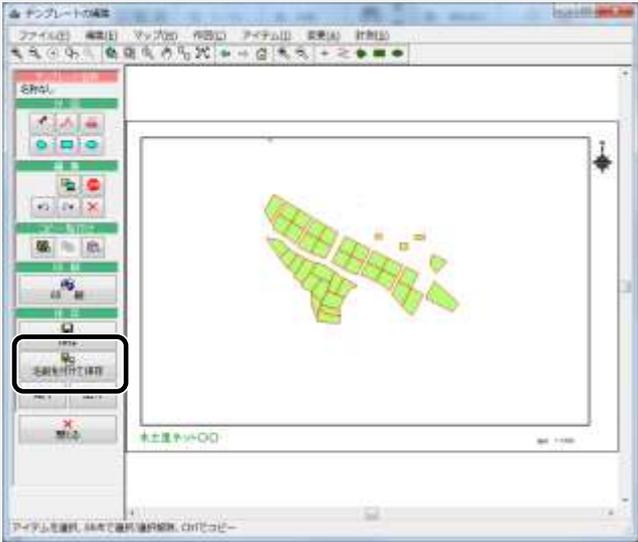
### テンプレートを配置します

[Vi] [Ma] [Mo]

①  印刷	① 【印刷】 コマンドを実行します
② 	② 各設定を行います ・テンプレート選択 ・スケール指定 ・角度設定 ③ <b>テンプレート配置</b> ボタンを押します
④  ⑤	④ 地図上をクリックすると編集画面が表示 します ⑤ テンプレートを編集します [作図] ・テキスト ・ポイント ・ライン ・エリア

テンプレートをマップドキュメントファイル (SWD) として保存します

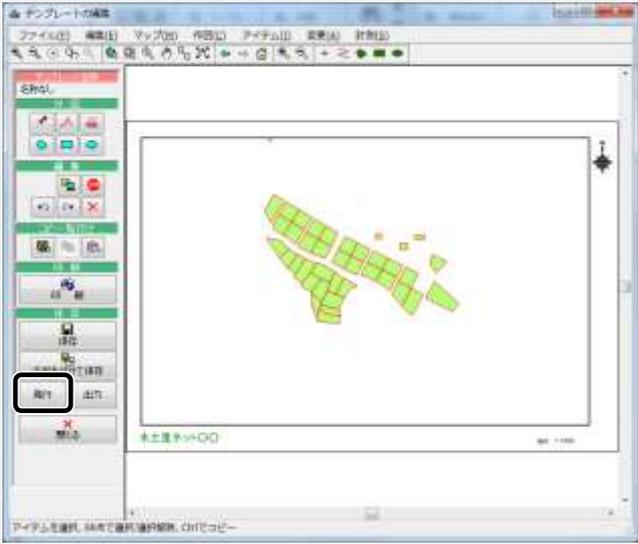
[Vi] [Ma] [Mo]

- |   |   |
|---|---|
| <p>①</p>   | <p>① 『テンプレートの編集』画面で名前をつけて保存ボタンを押します</p> |
| <p>②</p>  | <p>② ファイル名を入力し保存ボタンを押します</p>            |

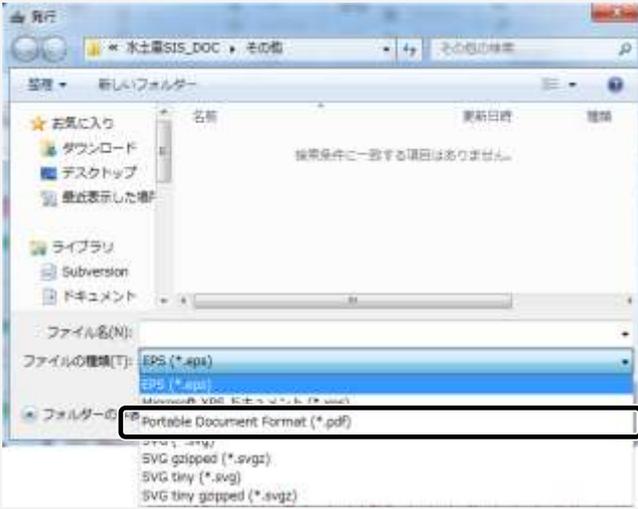
## テンプレートを PDF として保存します

[Vi] [Ma] [Mo]

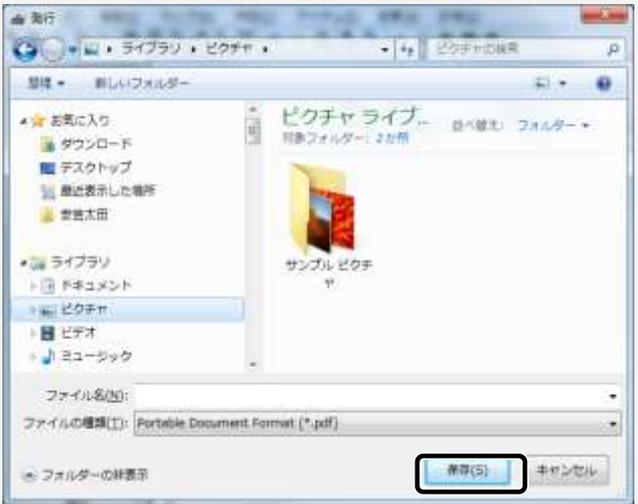
- ①



① 『テンプレートの編集』画面で**発行**ボタンを押します
- ②



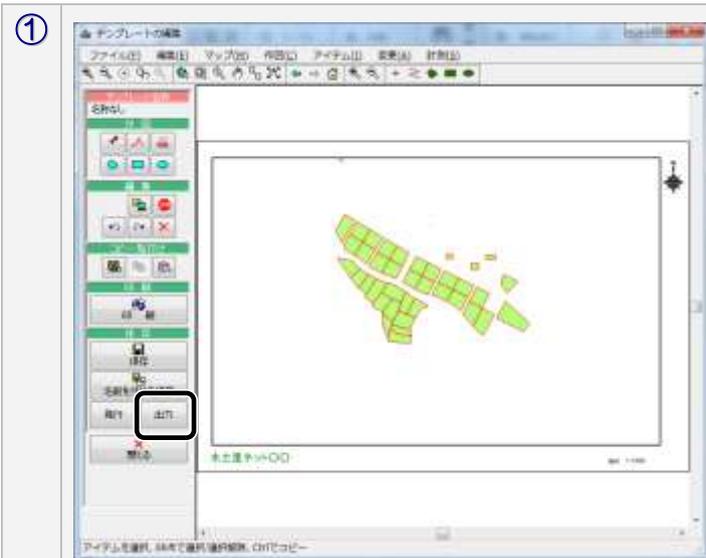
② ファイルの種類 (PDF) を選択します
- ③



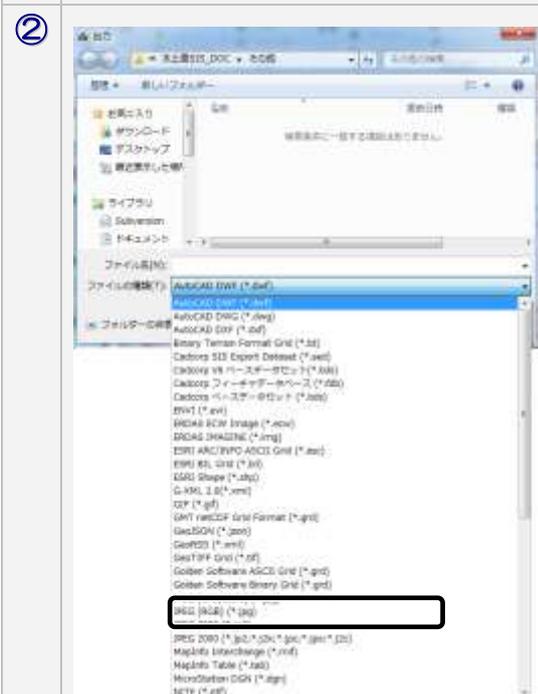
③ ファイル名を入力し**保存**ボタンを押します

テンプレートを画像 (JPG) として保存します

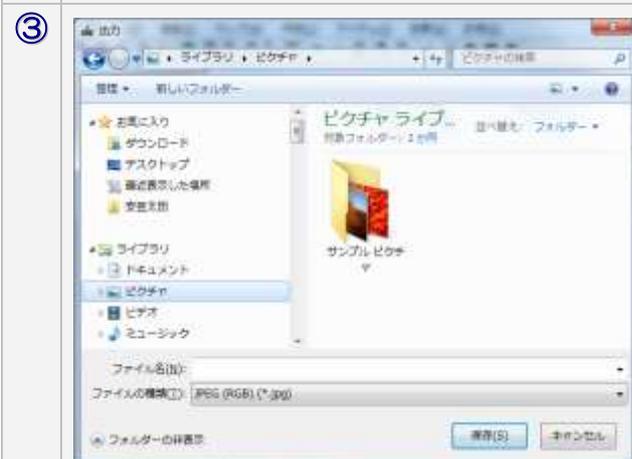
[V] [Ma] [Mo]



① 『テンプレートの編集』画面で出力ボタンを押します



② ファイルの種類 (Jpg) を選択します



③ ファイル名を入力し保存ボタンを押します

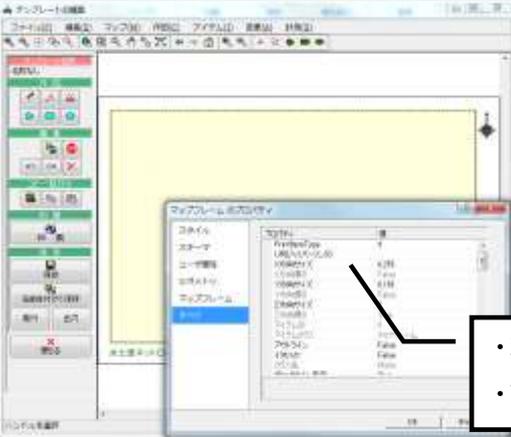
# 16. 連続印刷

## 16.1.連続印刷の図郭を作成する

連続印刷用の四角形を作図します。※Modeller では【連続コピー】コマンドで複数エリアを連続生成できます

### 印刷用紙のマップフレームサイズを調べます

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①  印刷</p>	<p>① 【印刷】 コマンドを実行しテンプレートを配置します</p>
<p>② </p> <p>③ 『マップフレームのプロパティ』パネルで「X方向サイズ」と「Y方向サイズ」をメモします</p> <div data-bbox="730 974 1008 1093" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>• X方向サイズ: 0.255 • Y方向サイズ: 0.165</p> </div>	<p>② フォトを選択し【プロパティ】 コマンドを実行します</p> <p>③ 『マップフレームのプロパティ』パネルで「X方向サイズ」と「Y方向サイズ」をメモします</p>

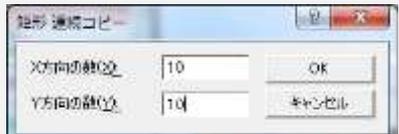
### 長方形を作図します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>④ </p>	<p>④ 図郭のオーバーレイをカレントに設定します</p>
<p>⑤ </p>	<p>⑤ 【四角】コマンドを実行し <b>Enter</b> キーを押すと『四角形作図パネル』が表示されます</p>
<p>⑥ </p>	<p>⑥ 縮尺 1000 で印刷する場合は手順③で計測した「X サイズ」と「Y サイズ」に 1000 を掛けた値を入力します</p> <p style="text-align: center;">0.255 × 1000 = 255</p> <p style="text-align: center;">0.165 × 1000 = 165</p> <p>⑦ 図郭地図上を2点クリックし配置します。エリアローカルメニューから【プロパティ】コマンドを実行しブラシ色を「Invisible」「White」など透過色に設定します</p>

### 【矩形】コマンドで複数個の長方形を自動作成します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>⑧ </p>	<p>⑧ 長方形を選択し【矩形】コマンドを実行します</p>
<p>⑨ </p>	<p>⑨ 「X方向の数」「Y方向の数」を入力し <b>OK</b> ボタンを押します マウスがスパナの状態で四角形「左下」「右上」をクリックします</p>

## 16.2.連続印刷する

作成した図郭を利用して連続印刷を行います

### 連続印刷します

[Vi] [Ma] [Mo]



<p>⑩ <b>連続印刷</b></p> <p>⑪ レイヤ 親 ユーザ図形 子 図郭</p> <p>⑫ 図面番号属性 <input type="text" value="_id&amp;"/> <b>インデックスマップとして確定</b></p> <p>⑬ 図面番号 <input checked="" type="checkbox"/> 表示 配置 左下 方向 右上 高さ 25</p> <p>⑭ 図面番号選択</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>図面番号</th> <th>ボタン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>プレビュー</td></tr> <tr><td>2</td><td>プレビュー</td></tr> <tr><td>3</td><td>プレビュー</td></tr> <tr><td>4</td><td>プレビュー</td></tr> <tr><td>5</td><td>プレビュー</td></tr> <tr><td>6</td><td>プレビュー</td></tr> <tr><td>7</td><td>プレビュー</td></tr> <tr><td>8</td><td>プレビュー</td></tr> </tbody> </table> <p>⑮ <b>印刷</b></p>	図面番号	ボタン	1	プレビュー	2	プレビュー	3	プレビュー	4	プレビュー	5	プレビュー	6	プレビュー	7	プレビュー	8	プレビュー	<p>⑩ 【連続印刷】コマンドを実行します</p> <p>⑪ 図郭オーバーレイを設定します</p> <p>⑫ 「図郭番号属性」「スケール：1000」「用紙A4(横)」に設定し<b>インデックスマップとして確定</b>ボタンを押します</p> <p>⑬ 図郭番号を左下に配置する場合は「図面番号表示」をチェックします</p> <p>⑭ 印刷する図面番号をチェックします</p> <p>⑮ <b>印刷</b>ボタンを押します</p>
図面番号	ボタン																		
1	プレビュー																		
2	プレビュー																		
3	プレビュー																		
4	プレビュー																		
5	プレビュー																		
6	プレビュー																		
7	プレビュー																		
8	プレビュー																		

★指定図枠の印刷手順

(1) 図郭オーバーレイを選択しローカルメニュー【マイレイヤヒット】コマンドを実行します

(2) 印刷対象の図郭を選択します

(3) **リスト表示** コマンドを実行し**フィルタ設定**ボタンを押します

(4) **連続印刷** コマンドを実行し印刷します

## 16.3.PDF として連続保存する

作成した図郭を利用して PDF ファイルの出力を行います

### PDF として保存します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①  連続印刷</p>	<p>① 【連続印刷】 コマンドを実行します</p>																											
<p>② レイヤ 親 ユーザ図形 子 図郭</p>	<p>② 図郭オーバーレイを設定します</p>																											
<p>③ 図面番号属性 <input type="text" value="_id&amp;"/> <input type="button" value="インデックスマップとして確定"/></p>	<p>③ 「図郭番号属性」「スケール：1000」「用紙 A4(横)」に設定し <input type="button" value="インデックスマップとして確定"/> ボタンを押します</p>																											
<p>④ 図面番号選択</p> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>図面番号</th><th>ボタン</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 2</td><td>プレビュー</td></tr><tr><td>2</td><td><input type="checkbox"/> 3</td><td>プレビュー</td></tr><tr><td>3</td><td><input type="checkbox"/> 4</td><td>プレビュー</td></tr><tr><td>4</td><td><input type="checkbox"/> 5</td><td>プレビュー</td></tr><tr><td>5</td><td><input type="checkbox"/> 6</td><td>プレビュー</td></tr><tr><td>6</td><td><input type="checkbox"/> 7</td><td>プレビュー</td></tr><tr><td>7</td><td><input type="checkbox"/> 8</td><td>プレビュー</td></tr><tr><td>8</td><td><input type="checkbox"/> 9</td><td>プレビュー</td></tr></tbody></table>		図面番号	ボタン	1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	プレビュー	2	<input type="checkbox"/> 3	プレビュー	3	<input type="checkbox"/> 4	プレビュー	4	<input type="checkbox"/> 5	プレビュー	5	<input type="checkbox"/> 6	プレビュー	6	<input type="checkbox"/> 7	プレビュー	7	<input type="checkbox"/> 8	プレビュー	8	<input type="checkbox"/> 9	プレビュー	<p>④ 印刷する図面番号をチェックします</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"><p>文字の編集などの設定は、連続印刷と同様に行ってください</p></div>
	図面番号	ボタン																										
1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	プレビュー																										
2	<input type="checkbox"/> 3	プレビュー																										
3	<input type="checkbox"/> 4	プレビュー																										
4	<input type="checkbox"/> 5	プレビュー																										
5	<input type="checkbox"/> 6	プレビュー																										
6	<input type="checkbox"/> 7	プレビュー																										
7	<input type="checkbox"/> 8	プレビュー																										
8	<input type="checkbox"/> 9	プレビュー																										
<p>⑤ <input type="button" value="PDF出力"/></p>	<p>⑤ <input type="button" value="PDF出力"/> ボタンを押します</p>																											
<p>⑥ PDF出力設定</p> 	<p>⑥ ファイルの保存先や PDF に関する設定を確認、変更します</p>																											
<p>⑦ <input type="button" value="OK"/></p>	<p>⑦ <input type="button" value="OK"/> ボタンを押します</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"><p>指定された保存先に、[図面番号].pdf というファイル名でファイルを出力します</p></div>																											

【PDF 出力設定】項目一覧

[Vi] [Ma] [Mo]

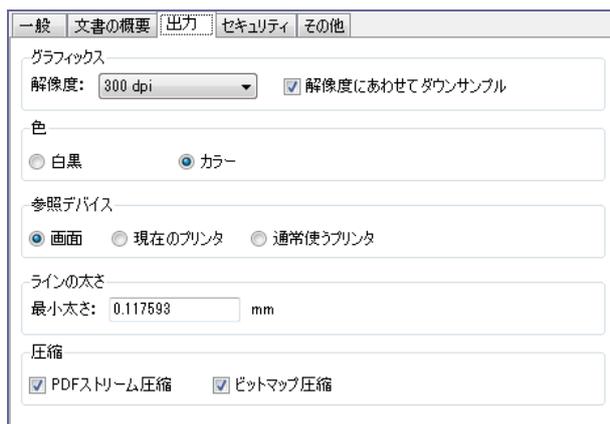
・「一般」タブ

項目	内容
保存先	ファイルの出力先のフォルダを指定します。 変更する場合、 <b>選択</b> ボタンを押してフォルダを選択します。
ページ	サイズを A0、A1、A2、A3、A4、A5、A6、B5、カスタムから選択します。 固定サイズの場合は縦、横の設定を確認、選択します。 カスタムサイズを選択した場合、幅、高さを入力します。 入力する数値の単位は mm、cm、ポイントから選択可能です。
余白	余白を指定します。 入力する数値の単位は、ページ／単位で選択したものと同じです。
イメージ回転	ページに配置する際のマップビューの回転を指定します。

・「文書の概要」タブ

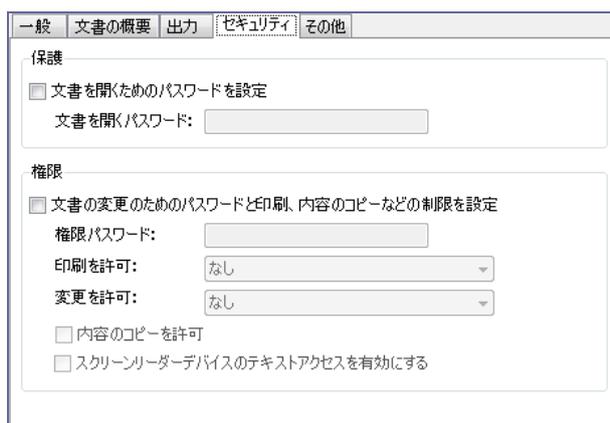
項目	内容
文書の情報	PDF 文書の概要のタイトル、サブタイトル、作成者、キーワードを入力します。

・「出力」タブ



項目	内容
グラフィックス／解像度	300dpi、600dpi、1200dpi から選択します。 解像度が高いほど PDF ファイルのサイズが大きくなります。
グラフィックス／解像度に 合わせてダウンサンプル	チェックを ON にすると選択した解像度にビットマップをダウンサンプルし、PDF ファイルのサイズを軽減します。
色	PDF を白黒で作成するかカラーで作成するかを指定します。
参照デバイス	描画コマンドの参照デバイスを指定します。
ラインの太さ	最小のライン幅を指定します。
圧縮／PDF ストリーム圧 縮	チェックを ON にすると PDF ファイルのサイズを軽減します。
圧縮／ビットマップ圧縮	チェックを ON にするとビットマップがある場合に PDF ファイルのサイズを軽減 します。

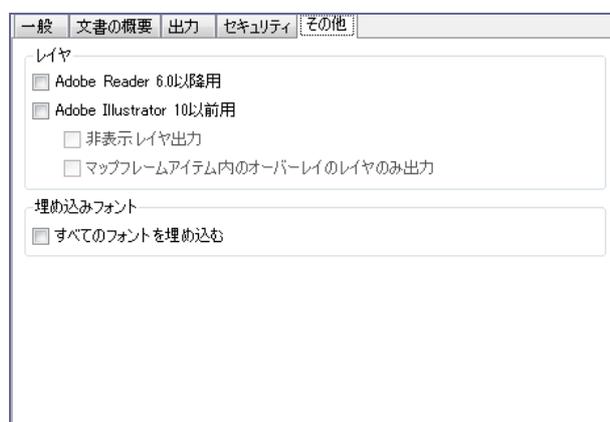
・「セキュリティ」タブ



項目	内容
保護	PDF ファイルを開く際のパスワードを設定するかどうかを指定します。 パスワードを設定する場合、「文書を開くためのパスワードを設定」のチェックを ON に設定し、パスワードを入力します。

権限／文書の変更のためのパスワードと印刷、内容のコピーなどの制限を設定	PDF 文書の印刷や編集の制限を行う場合、チェックを ON に設定します。 チェックが ON の場合のみ、これ以降の権限設定が有効となります。
権限／権限パスワード	権限パスワードを入力します。 印刷や編集の制限を行う場合、このパスワードは必須です。
権限／印刷を許可	PDF の印刷許可を指定します。なしに設定すると印刷は許可されません。
権限／変更を許可	PDF に対する変更の許可を指定します。
権限／内容のコピーを許可	チェックを ON にすると PDF の内容の選択やコピーを許可します。
権限／スクリーンリーダーデバイスのテキストアクセスを有効にする	チェックを ON にするとスクリーンリーダーでのアクセスを許可します。 「内容のコピーを許可」のチェックが OFF の時のみ、この設定が有効となります。

・「その他」タブ



項目	内容
レイヤ／Adobe Reader 6.0以降用	チェックを ON にすると、各オーバーレイを Adobe Reader 6.0 以降用のレイヤ情報として出力します。
レイヤ／Adobe Illustrator 10 以前用	チェックを ON にすると、各オーバーレイを Adobe Illustrator 10 以前用のレイヤ情報として出力します。
レイヤ／非表示レイヤ出力	チェックを ON にすると、非表示オーバーレイを非表示レイヤとして出力します。 この設定は、レイヤ出力が指定されている時のみ有効です。
レイヤ／マップフレームアイテム内のオーバーレイのレイヤのみ出力	チェックを ON にすると、マップフレームアイテム内のオーバーレイのみレイヤ出力します。 この設定は、レイヤ出力が指定されている時のみ有効です。
埋め込みフォント	「すべてのフォントを埋め込む」のチェックを ON にすると、使用するフォントをすべて PDF 文書内に埋め込みます。

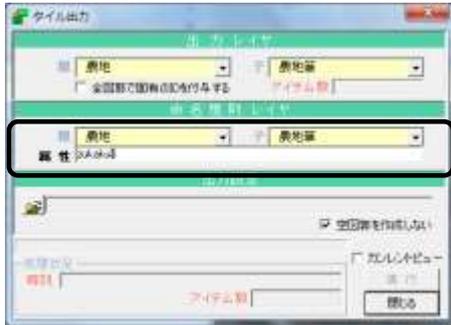
## 17. 出力（タイル出力データの活用・頂点出力）

### 17.1.タイル出力の図枠を用意する

図枠の境界でエリアを分割せずにタイル出力を行う場合は、あらかじめ出力用の図郭を作成しておきます

汎用タイル出力用の図郭を出力します

[Vi] [Ma] [Mo]



①

① 出力範囲を指定し、すべて非表示にします

②



② 【タイル】コマンドを実行します

③ 汎用タイル出力用の命名規則を選択し、出力します

汎用タイル出力用の図郭を読み込みます

[Vi] [Ma] [Mo]

④

④ 【オーバーレイ追加】コマンドを実行し「Cadcorp インデックスデータセット」を選択し③で出力したファイルを読み込みます。図郭を選択し右クリックメニューから【プロパティ】を確認します

⑤



⑤ 【オーバーレイ】コマンドの「スキーマ」でファイル名を取得できるフォーミュラ式を追加します

⑥

-78000	-35250	0	09LC114
-71000	-35250	0	09LC123
-75000	-33750	0	09LC111
-78000	-33750	0	09LC112
-71000	-33750	0	09LC121
-75000	-32250	0	09LC013

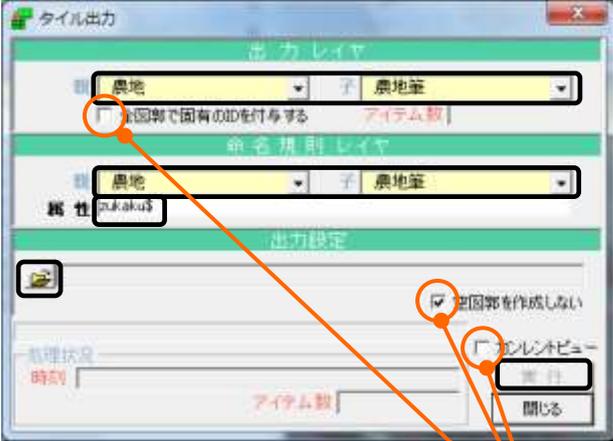
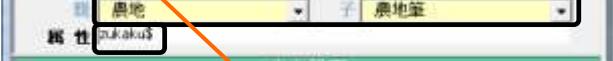
⑥ テーブルウィンドウでファイル名のみ表示されていることを確認します。

## 17.2.タイル出力（汎用）を行う

図枠の境界でエリアを分割せずにタイル出力を行います

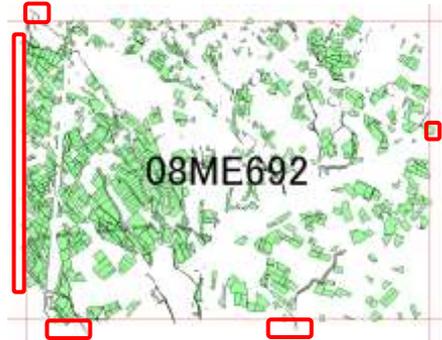
### タイル出力を行います

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①  タイル</p>	<p>① 【タイル出力（汎用）】コマンドを実行します</p>
<p>② </p> <p>③ </p> <p>④ </p> <p>⑤ </p> <p>⑥ </p> <div data-bbox="245 1064 842 1377" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全図郭で固有の ID を付与する 全図郭でユニークな図形 ID を付与します。処理に時間がかかります</li> <li>●空図郭を指定しない 出力図郭内の図形が0件の場合は「bds ファイル」が作成されません</li> </ul> </div>	<p>② <b>出力</b>レイヤを選択し、出力対象のオーバーレイを指定します</p> <p>③ <b>命名規則</b>レイヤを選択します</p> <p>④ 図郭属性名を入力します</p> <div data-bbox="880 784 1401 1093" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>既に読み込んでいるインデックスファイル名を利用する場合はフォーミュラ式を入力します 例) <code>_filename\$</code>の値が 「<code>C:\¥map¥09LC112.bds</code>」の場合は 「<code>09LC112</code>」の値を取得するために <code>Mid(_filename\$, 8, 7)</code> と入力します</p> </div> <p>⑤ 出力先を指定します</p> <p>⑥ <b>実行</b>ボタンを押して出力を開始します</p>
<p>⑦ </p>	<p>⑦ 【オーバーレイ追加】コマンドを実行します。 「インデックスデータセット」で出力された「bds」ファイルを読みこんで出力結果を確認します</p>

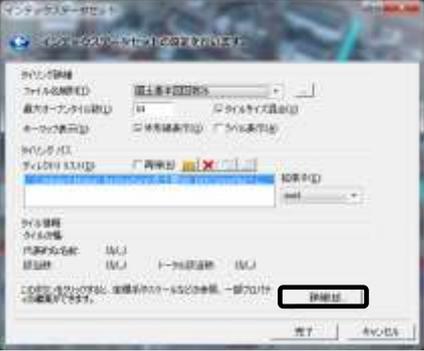
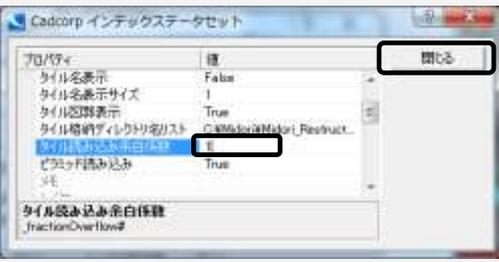
## 17.3. タイル出力（汎用）データの読み込みと編集を行う

タイル出力（汎用）機能で出力した bds ファイルをインデックスデータセットで読み込む場合は「タイル読み込み余白係数」を「1」に設定します。※原点が「表示図郭」内に含まれない「図郭境界上の図形」を選択するために設定が必要です



タイル出力（汎用）で出力されたファイルをインデックスで読み込みます

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p>  <p>オーバーレイ追加</p>	<p>① 【オーバーレイ追加】コマンドを実行し Cadcorp インデックスデータセットを選択します</p> <p>② タイル出力（汎用）で出力したファイルを指定します</p>
<p>③</p> 	<p>③ 詳細ボタンを押します</p>
<p>④</p> 	<p>④ プロパティボタンを押します</p>
<p>⑤</p> 	<p>⑤ 「タイル読み込み余白係数」に「1」を設定し閉じるボタンを押します</p>

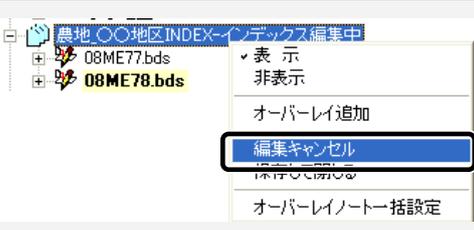
## インデックスで読み込んだ図形を編集します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①</p> 	<p>① 図形を選択しローカルメニューから【②インデックス編集】コマンドを実行します</p> <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p>●【インデックス編集】コマンドがローカルメニューに表示されるための条件</p> <p>1) インデックスデータセットで読み込まれている</p> <p>2) オーバーレイに「T_テーブル」が設定されている</p> </div>
<p>②</p> 	<p>② 地図が読み込まれます</p> <p>「属性の編集」や「図形の編集」を行います</p>
<p>③</p> 	<p>③ 親「〇〇-インデックス編集」を選択し【保存して閉じる】コマンドを実行します</p> <p>→インデックスオーバーレイが更新されます</p>

## インデックスオーバーレイの図形が更新されたことを確認します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>④</p> 	<p>④ 親「〇〇-インデックス編集」を選択し【削除】コマンドを実行します</p>
--	---

## インデックス編集集中に継承される属性

★「インデックス編集集中」に継承される属性

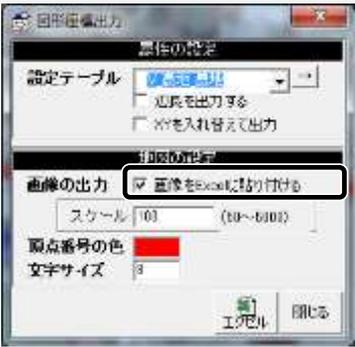
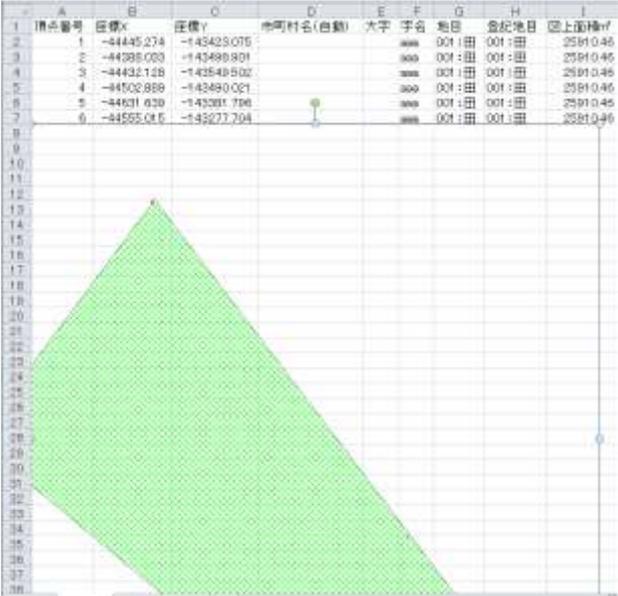
- ・一般タブ（ステータス・オーバーレイノート）
- ・表示タブ（スケールフィルタ）
- ・主題図タブ（主題図）
- ・スキーマタブ（スキーマ）
- ・データセットタブ（データセットスケール）

## 17.4.図形の頂点情報を入力する

選択図形の頂点の情報を Excel ファイルに出力します

### 頂点の座標と付加情報を Excel に出力します

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>①  原点座標</p>	<p>① 【頂点出力】 コマンドを実行します</p>
<p>② </p> <p>④ </p>	<p>② 「エクセルに画像を貼り付ける」 場合は チェックします</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>縮尺画像の「スケール」を設定 (設定範囲：50～5000)</p> </div> <p>③ 図形を選択します</p> <p>④ <b>Excel</b> ボタンを押すと Excel が起動します</p>
<p>⑤ </p>	<p>⑤ 頂点番号と属性が Excel に表示されます</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p> <b>テーブル一覧</b> コマンドで「V_農地_農地」を 選択し出力対象の属性を変更できます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 属性設定 ○ 管理(Limit.mdb)</li> <li>□ 属性管理</li> <li>□ マスター管理</li> <li>□ システム管理             <ul style="list-style-type: none"> <li>□ S.サブ管理</li> <li>□ S.総合検索</li> </ul> </li> <li>□ データベース接続定義             <ul style="list-style-type: none"> <li>□ S.データベース接続管理</li> <li>□ O.マスタ</li> <li>□ O.地番データ</li> </ul> </li> <li>□ <b>頂点出力</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ <b>V.農地_農地</b></li> </ul> </li> </ul> </div>

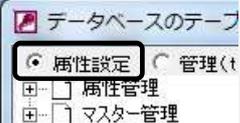
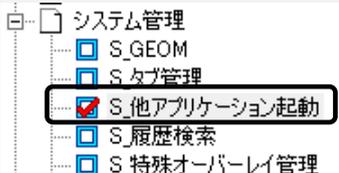
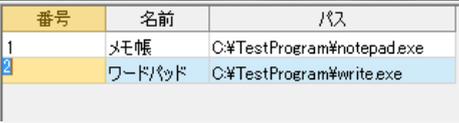
## 18. 他アプリケーション起動

[Vi] [Ma] [Mo]

他のExeやExcel、Word、Accessファイルなどを水土里情報入力システムから呼び出す機能です

※ 実行形式(EXE)以外のファイルを呼び出す場合は、ファイルに予めアプリケーションが関連づけられている必要があります

### 18.1.他アプリケーションの登録

①		① 【テーブル一覧】コマンドを実行します									
②		② 「属性設定」を選択します									
③		③ 「S_他アプリケーション起動」を選択します									
④		④ 追加ボタンを押します									
⑤	 <table border="1" data-bbox="248 1254 707 1377"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>名前</th> <th>パス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>メモ帳</td> <td>C:\TestProgram\notepad.exe</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ワードパッド</td> <td>C:\TestProgram\write.exe</td> </tr> </tbody> </table>	番号	名前	パス	1	メモ帳	C:\TestProgram\notepad.exe	2	ワードパッド	C:\TestProgram\write.exe	⑤ 登録したいファイル、プログラムを設定します 番号：並び順 名前：プログラムの名前 パス：実行パス
番号	名前	パス									
1	メモ帳	C:\TestProgram\notepad.exe									
2	ワードパッド	C:\TestProgram\write.exe									

## 18.2.他アプリケーションの起動

① 	① 【他アプリケーション起動】コマンドを実行します
② 	② 登録した番号順にボタンに名称が表示されます  ③ ボタンを押すことでプログラム、ファイルが起動します ※ 起動後は自動的にこの画面は閉じられます

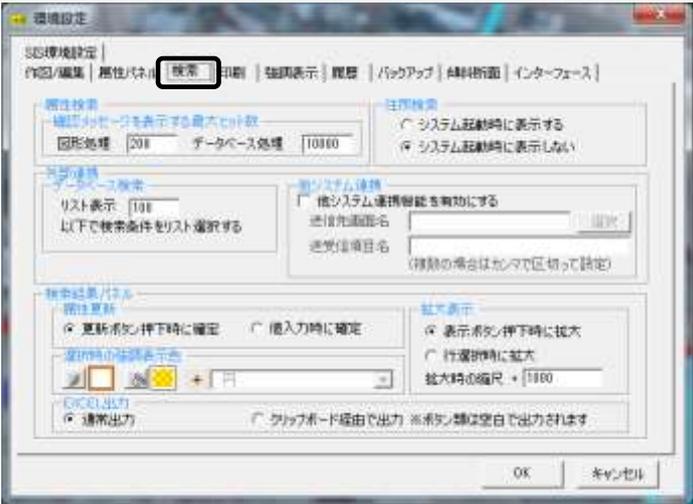
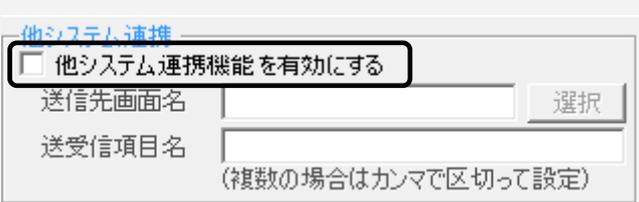
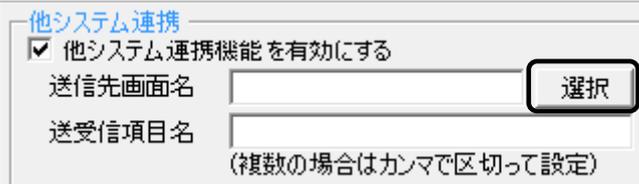
## 19. 他システム連携

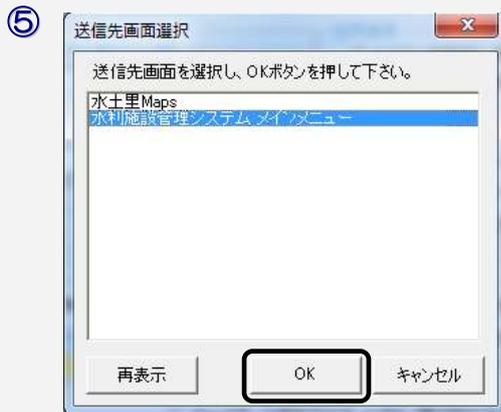
[Vi] [Ma] [Mo]

水土里情報入力システム以外のシステムと連携し、例えば水土里情報入力システム内の農地の情報から別システム内で保持している農地の情報画面を表示したり、他のシステム内の農地情報から水土里情報入力システム内の農地エリアへジャンプしたりといったことが可能となります。

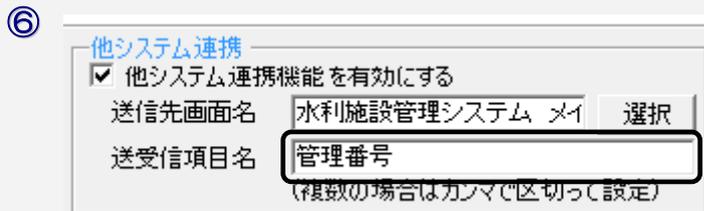
- ※ 本機能を利用するには連携側のシステムに連携に関する処理が組み込まれている必要があります。
- ※ 水土里情報入力システムからの送信のみに対応しています。

### 19.1. 他システム連携の設定

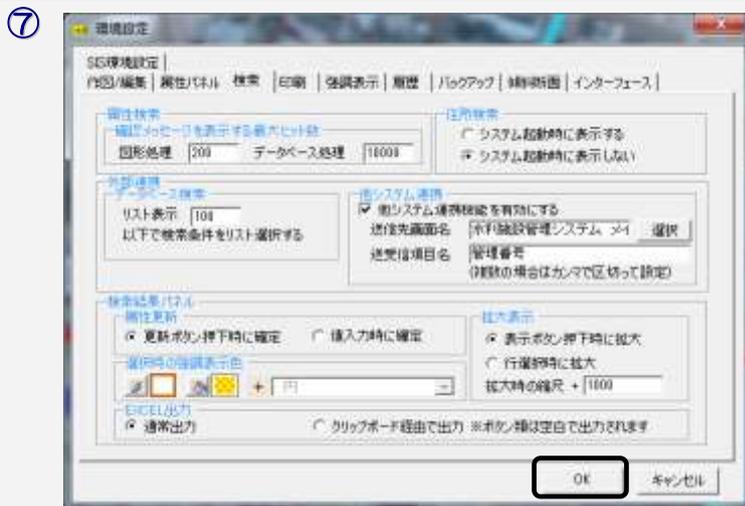
<p>①  環境設定</p>	<p>① 【環境設定】コマンドを実行します</p>
<p>② </p>	<p>② 「検索」タブを選択します</p>
<p>③ </p>	<p>③ 「他システム連携機能を有効にする」にチェックを入れます。</p> <p>※ 他システムからの受信機能は次回起動時より有効になります。</p>
<p>④ </p>	<p>④ <b>選択</b>ボタンを押します</p> <p>※ 連携する他システムを起動した状態で行って下さい。(他システム側でログインがある場合はログインをした状態にして下さい)</p>



⑤ 連携先のシステム画面名を一覧より選択し、**OK**ボタンを押します



⑥ 送受信項目名は送信・受信対象の属性項目名を設定します。  
※ 属性テーブルに登録されている項目名を設定します。



⑦ 設定が完了したら**OK**ボタンを押してパネルを閉じます

⑧  コマンドを実行します

## 19.2.他システムへの情報の送信

<p>①</p> 	<p>① 他システムと連携したいアイテムを選択します。</p> <p>※ 一度に連携できるのは1アイテムのみです。</p>
<p>②</p> 	<p>② 【他システムで属性表示】コマンドを実行します。</p> <p>③ 連携側システムで送信した内容により処理が行われます。</p>

## 20. 特殊オーバーレイの管理

### 20.1. 特殊オーバーレイのステータスを制御する

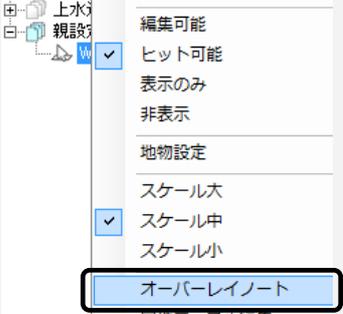
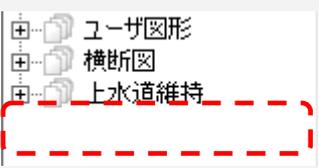
特殊オーバーレイ(レイヤ操作ウィンドウから非表示にしたオーバーレイ)を設定します

オーバーレイのステータスの変更は、「特殊オーバーレイ管理」コマンドで行います

この設定を行うためには、管理者側でシステムテーブル「S\_特殊オーバーレイ管理」の設定が必要です

**特殊オーバーレイの設定を行います**

[Vi] [Ma] [Mo]

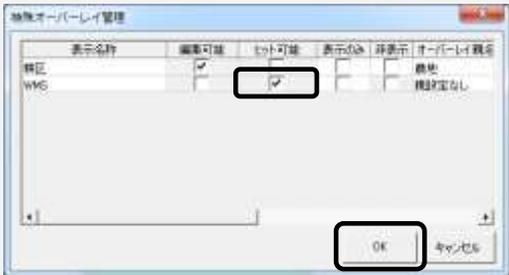
<p>①</p>  <p>②</p>  <p>③</p> 	<p>① レイヤツリーからオーバーレイを選択します。 例：「WMS」</p> <p>② オーバーレイノートを実行します。</p> <p>③ 親名称を「非表示」に変更します。</p>
<p>④</p> 	<p>④ オーバーレイがレイヤ操作ウィンドウから非表示になります。</p>

## 特殊オーバーレイのステータスを変更します

特殊オーバーレイのステータスの管理は、【特殊オーバーレイ管理】コマンドで行います

この設定を行うためには、管理者側でシステムテーブル「S\_特殊オーバーレイ管理」の設定が必要です

[Vi] [Ma] [Mo]

<p>① </p>	<p>① 【特殊オーバーレイ管理】コマンドを実行します</p>
<p>② </p>	<p>② 「特殊オーバーレイ管理」フォームが表示されます</p> <p>③ 設定したいステータスにチェックを入力します</p> <p>④ <b>OK</b>ボタンを押します</p> <p>設定したステータスに変更されているかどうか確認します</p>

# 21. 環境設定

[Vi] [Ma] [Mo]



【環境設定】コマンドではシステムの動作環境を設定します

## 21.1. 「作図/編集」タブ

①



②

① エリア エリア作図で『エリア作図パネル』を表示するかどうかを設定します



② 付箋作図のスタイルを設定します

## 21.2. 「属性パネル」 タブ

- ① 『属性パネル』のボタンの色を設定します

- ② Viewer ライセンスにおいて地図をクリックして図形を選択するための基準距離を設定します

- ③ 『データベースパネル』でデータベース更新ボタンを押すと同時にユーザー属性が更新します

- ④ 『属性パネル』で更新ボタンを押すと同時に接続されているデータベースレコードが更新されます

- ⑤ 『属性パネル』で更新ボタンを押すと同時に bds もしくは Swd の保存が自動的に行われます

クリックした位置から 1m の範囲内で図形の「原点」を基準に図形が検索され 『属性パネル』が表示する

## 21.3. 「検索」 タブ

- ① 検索で指定値を超えると確認のメッセージが表示されます
- ② システム起動時に『住所検索パネル』を表示するかどうかを設定します
- ③ データベース検索でリスト検索の基準値を設定します
- ④ 他システム連携の利用に関する内容を設定します。
- ⑤ 『検索結果パネル』（及び属性リストパネル）の動作を設定します  
★属性連続入力で利用します
- ⑥ EXCEL 出力  
クリップボードで高速出力が行えます  
**※ ボタン類は出力不可**

## 21.4. 「印刷」 タブ

- ① 『テンプレート編集パネル』での作図スタイルを設定します

## 21.5. 「強調表示」 タブ

- ① 情報表示時で強調表示をおこなうかを設定します
- ② 情報表示の強調表示色（強調表示）を設定します

## 21.6. 「履歴」タブ

<p>①</p> 	<p>① 履歴をとるかどうかを設定します</p>
--	--------------------------

## 21.7. 「バックアップ」 タブ

MDB から図形へのインポート、図形から DB へのエクスポート処理でのバックアップ数を指定します

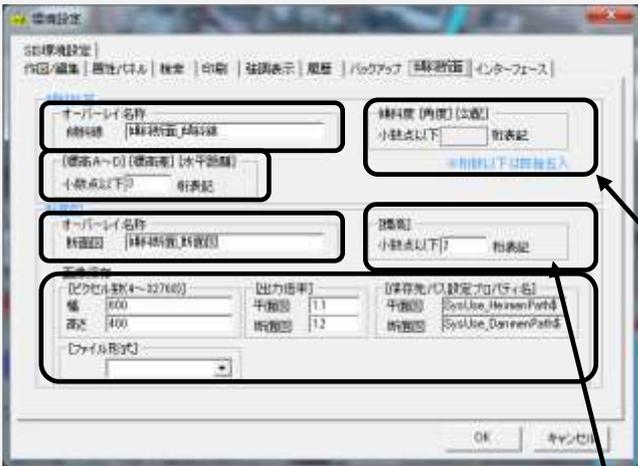
- ① インポート (MDB→図形)  
バックアップとして作成される図形データ (SWD/bds) ファイルの数を指定します
- ② エクスポート (図形→MDB)  
バックアップとして作成される Access ファイルの数を指します
- ③ インポート/エクスポート  
作成される LOG ファイルの数を指定します
- ④ (検索用) 属性 MDB のバックアップ  
属性出力時にバックアップとして作成される Access ファイルの数を指定します

- ⑤ SWD のバックアップ  
保存時にバックアップファイルとして待避する SWD ファイルの保存数を指定します

名別
20100601173602_data_保存.swd
20100601182745_data_保存.swd

- ⑥ (水土里用) システム MDB のバックアップとして作成される Access ファイルの数を指定します

## 21.8. 「傾斜断面」 タブ



① 傾斜計算で使用する「オーバーレイ名」を指定します。※ツリーの「親\_子」の形で記入します

② 『傾斜計算パネル』の「桁数」を指定します

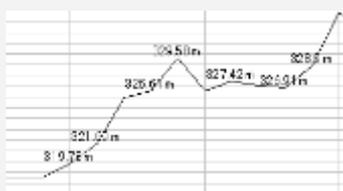
高さ1(m)	10124	h1 #
高さ2(m)	5569	h2 #

③ 『傾斜計測』の「桁数」を指定します

傾斜		
角度(°)	13.72	kakudo #
勾配(%)	26.38	koubai #
(1/n)	1/3.79	koubai2 \$

④ 断面図で使用する「オーバーレイ名」を指定します。※ツリーの「親\_子」の形で記入します。

⑤ 『断面図』に表記される標高の「桁数」を指定します

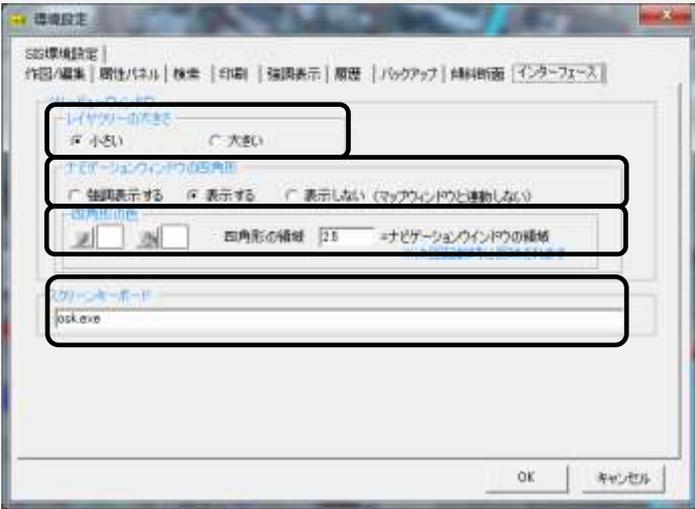


⑥ 『断面図』の画像出力時に出力する画像の解像度、出力倍率、ファイル形式(jpg/png)を指定します



『保存先パス設定プロパティ名』は、画像出力時にパス情報が保存されるプロパティ名を示しています。

## 21.9. 「インターフェース」タブ



① ツリービューウィンドウの大きさを変更します

② ナビゲーションウィンドウの四角系を表示するかどうかを設定します

③ ナビゲーションウィンドウの強調表示色を設定します



④ WINDOWS 標準のスクリーンキーボードの設定は「osk.exe」です。『属性』パネルの空きスペースでダブルクリックするとスクリーンキーボードが表示します

## 21.10. 「SIS 環境設定」 タブ

①

① システムの環境設定を行います

SIS 基本機能の環境設定は保存できません。一時的な変更です



「Tlimit.mdb」の「SIS 環境設定」テーブルに保存されています

